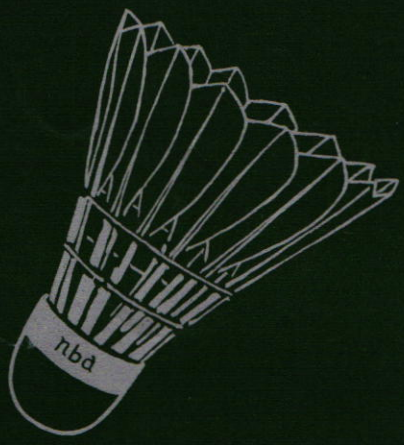


1965

北九州市

東京瓦斯株式会社

取締役社長　本田弘敏

取締役副社長　安西浩

東京都中央区八重洲一の三　電話(281)〇二二～一〇・〇二三～一〇・一三一～一〇

秩父宮妃賜杯

第15回全日本実業団バドミントン選手権大会

主　催　日本バドミントン協会、日本実業団バドミントン連盟、福岡県、福岡県教育委員会、福岡県体育協会、北九州市、北九州市教育委員会

主　管　福岡県バドミントン協会、北九州市バドミントン協会

後　援　労働省、北九州市体育協会、西日本新聞社、ＮＨＫ、ＫＢＣ、ＲＫＢ、ＴＮＣ

期　日　昭和40年6月18日（金）～6月22日（火）（5日間）

開催地　福岡県北九州市

会　場　北九州市立北九州大学体育館、小倉体育館

目　　次

お　言　葉……秩父宮妃殿下……P 1
挨　拶……日本バドミントン協会会長　本田弘敏……2
挨　拶……日本実業団バドミントン連盟会長　米沢　滋……2
挨　拶……福岡県バドミントン協会会長　森　俊雄……3
挨　拶……北九州市バドミントン協会会長　岡崎春雄……3
挨　拶……北九州市長　吉田法晴……4
挨　拶……北九州市議会議長　明石清彦……4
大会役員……5、6
競技役員……7、8
大会日程……9
試合時間表……10、11
男子団体……12、13
女子団体……14
一般男子単……15
一般男子複……16、17
一般女子単……18
一般女子複……19
30代男子複……20
40代男子単……20
30代男子単……21
40代男子複……21
混合……22
選手名簿……23～27
過去の栄冠……28～31
選手、役員宿舎一覧表……32
小倉区市街地図……33
会場見取図……34
審判用語……35、36



秩父宮妃殿下 お言葉

今回、第15回全日本実業団バドミントン選手権大会が、北九州市におきまして開催され、その開会式に出席することができましたことを心から嬉しく存じます。

日本のバドミントンは、最近その技術が非常に向上し、昨年は東京において世界選手権大会が行なわれ、日本はアメリカゾーンの勝者としてインターゾーンに出場して善戦し、個人戦においては、優勝の栄冠をかち得ましたことは私の深く喜びとするところであります。

皆さんは、職場における多忙な生活の余暇にスポーツに励まれ、心身の鍛錬に精進されておりますず。

どうぞこのスポーツを通じて立派な徳性を養われ、良識ある社会人、職業人として、明るい社会の建設に尽されますよう希望してやみません。

祝　第１５回全日本実業団バドミントン選手権大会



ご　挨　拶

日本バドミントン協会会長

本　田　弘　敏

今回秩父宮妃殿下のご臨席を賜わり、第15回全日本実業団大会が、北九州市において開催されるに当り、一言お祝いの言葉を申し上げる機会を得ましたことは私のもっとも光栄とするところであります。過ぐる日、私は国体の席に天皇陛下をお迎えして、日本のバドミントンは必ず近き日に世界を征覇致す所存でありますとお誓い申し上げました。

ここ数年各位のご努力により日本の国際舞台における活躍は華々しく、昨年東京において開催されました第6回世界選手権大会においては、団体戦はアメリカゾーンに優勝し、インターゾーンにおいても堂々たる活躍を致し、世界5本の柱に入っております。また来年行なわれる女子世界選手権大会においても必ずや世界が驚嘆するような成績をあげ得るものと信じております。

選手諸君は日本における第一線の人達であります。どうか日本バドミントンの発展の為にも、諸君自身の人間形成の為にも、折角のご精進をお願いする次第であります。

終りに本大会の開催に当りご尽力を賜わりました関係各位に厚くお礼を申し上げます。



ご　挨　拶

日本実業団バドミントン連盟会長

米　沢　　滋

第15回全日本実業団バドミントン選手権大会が、秩父宮妃殿下のご来臨を仰ぎ、大生産都市であります北九州市において、開催されますことは、誠に意義深く、連盟発展のためにも、このうえない慶びと存ずる次第であります。

本年は、昨年男子世界バドミントン選手権大会が東京において開催されましたことに引き続き、女子世界バドミントン選手権大会（ユーバー杯）にわが国として初の参加をすることになり、いよいよ日本のバドミントン界も世界の檜舞台において活躍することとなりました。このような時期にあたり、職場に基盤を持ち、生活と結んだバドミントン実業団の使命は益々その重要性を加えております。本大会参加の選手諸君におかれては、日頃の実力を十分発揮され、練磨の技を存分に競われんことを祈って止みません。

なお、全国から多数の優秀な選手諸君の参加をうることが出来ましたことは、ひとえに地元の皆様をはじめ関係各位のご尽力のたまものと、深く感謝申し上げる次第であります。

おわりに、本大会が日本のバドミントン競技の発展と、スポーツを通じての各事業団体相互の親睦に役立つことができれば幸甚と存ずるものであります。

祝　第１５回全日本実業団バドミントン選手権大会



ご　挨　拶

福岡県バドミントン協会会長

森　　俊　雄

新緑滴る６月、秩父宮妃殿下賜杯 第15回全日本実業団バドミントン選手権大会を、ここ北九州市で開催する運びとなり、本日、遠く北は北海道より南は長崎県に至る全国各地から参集された、各実業団の精鋭なる選手諸君と、親しく接する機会を得ましたことは、寔に欣快に堪えません。衷心より歓迎申し上げます。

私は、昨年東京において、日本バドミントン協会会長本田弘敏氏と共に、第６回世界選手権大会を観戦する機会を得、具さにその最高水準の妙技と、日本選手諸君の善戦振りを見学致しましたが、その際、日本の輝やかしい躍進振りに驚嘆すると共に、日本のレベルを、世界征覇にまで持って行こうという固い決意を本田会長と共に語り合ったものであります。

本日、ご参加の諸君は、各職場より特に選抜された優秀選手であり、又現在の日本バドミントン界最高水準の競技者でもあります。本大会の成否は一に、諸君の双肩にかかっていると申しても過言ではないと信じます。どうか、日頃練磨の技倆を遺憾なく発揮され、正々堂々敢闘されんことをお祈りします。尚、大会の準備その他について、不行届の点が多々あることと存じますが、我々の熱意の程をお汲み取り下さいまして、絶大なるご協力を賜わりますようお願い致します。

終りに臨み、本大会の開催について、多大なるご協力を賜わりました関係各位に対し、深甚なる感謝の意を表しまして、私の挨拶と致します。



ご　挨　拶

北九州市バドミントン協会会長

岡　崎　春　雄

今回秩父宮妃殿下をお迎えして、北九州市において 第15回全日本実業団バドミントン選手権大会が開催されますことは、地元協会としまして誠に光栄に存じます。本大会は世界的選手を多数網羅した日本最高水準の大会と承わっております。選手諸君は何卒洗練された心技一体の妙技を展開されまして、地方スポーツに大きな刺戟を与えていただきたいと念願致すものであります。

現代社会が青年に要求致しております責任感・実践力・創造性はスポーツの場においては最も必要なことでありますし、又それを身につけた者のみが優秀な選手たり得るのであります。スポーツの優秀な選手諸君は同時に又優秀な職場の選手として活躍されることを信ずるものであります。

最後に本大会の為に多大のご協力を賜わりました地元有志並びに役員の諸氏に心からお礼を申しあげます。

祝　第１５回全日本実業団バドミントン選手権大会



ご　挨　拶

北九州市長　**吉　田　法　晴**

輝かしい栄光のあとをしるして、史上最大のオリンピック東京大会も終りましたが、今年こそ、その教訓を活してスポーツ界が一大飛躍をする年であると存じます。

前途の大きく開けたこの時期に、秩父宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数の選手をお迎えして、秩父宮妃賜杯 第15回全日本実業団バドミントン選手権大会を当北九州市で開催出来ますことは、私共関係者は勿論、北九州百万市民挙って喜びとし、ご歓迎申し上げます。　バドミントン競技は、職場で或いは家庭で余暇を利用して手軽に楽しめるスポーツと存じますが、又一面これに専念し追求すれば、大きな努力と修練が要求されると思います。

ここにご参加の皆さんは日頃この苦しい修練に耐え、努力されて今日の檜舞台にたたれたものと確信いたします。　どうか持てる力を十二分に発揮され、　スポーツマンシップに徹したうるわしい心・技をご披露いただくよう念願してやみません。

最後に本大会開催のためご尽力下さいました関係各方面の方々に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。



ご　挨　拶

北九州市議会議長　**明　石　清　彦**

秩父宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、第15回全日本実業団バドミントン選手権大会が、この北九州において開催されるにあたり、北九州市議会を代表し、百万市民とともに心から歓迎の言葉を申し上げます。

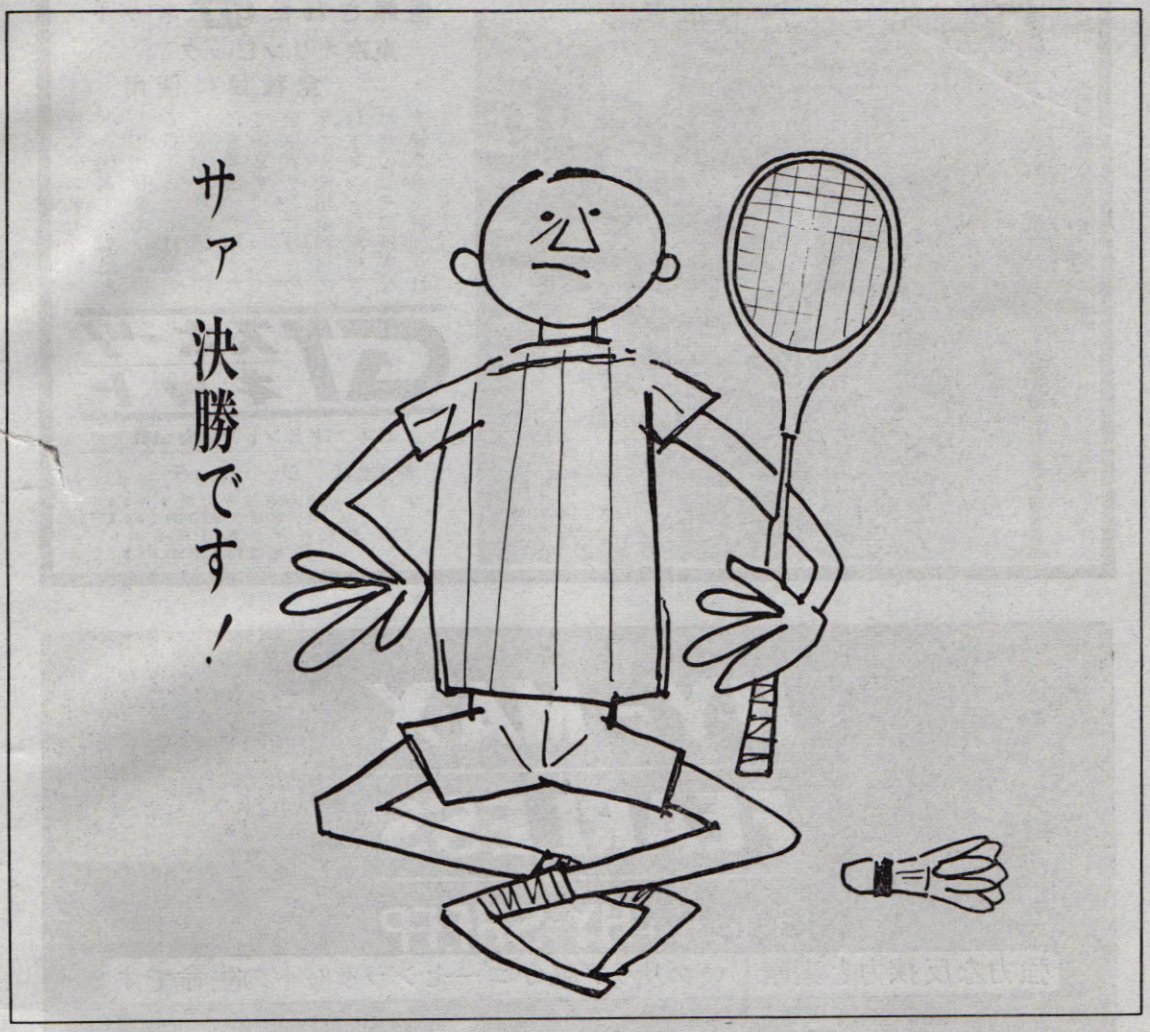
昨年の秋は、世紀のオリンピック東京大会が開催され、全世界からの称賛をうけ、成功裡に幕を閉じましたが、本年こそは、私共日本国民ひとりひとりが、このオリンピック精神を堅持し、更にあらゆるスポーツの飛躍する年でありたいと念願いたしております。

このときにあたり、全国からよりすぐられた優秀なる選手が、一堂に会し、その技を競われることは、北九州市のスポーツ振興にとって、大きな貢献があるものと、喜びにたえない次第であります。

わが国のバドミントン界は、世界最高の水準をいくもので、過去においてかずかずの成果を挙げておりますことは周知のとおりであり、世界バドミントン界を征覇はする日も近いものと期待いたしております。本大会に参加の選手諸君におかれましては、どうか日頃練磨されました力を充分に発揮され、立派な成績を残されるようお願い申し上げます。

本市は昭和38年２月、門司、小倉、八幡、戸畑、若松の五つの市が合併し、北九州市となり、新市発足後二カ年を経過したばかりでありますが、マスタープランを中心とした新しい街づくりに力を入れております折でもあり、大会に参加をされましたこの機会に、本市の発展途上にある状況をつぶさにご覧いただきたく思っております。

終りにのぞみ、本大会に寄せられました関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げるとともに、選手諸君のご健闘を心からお祈りしてご挨拶といたします。

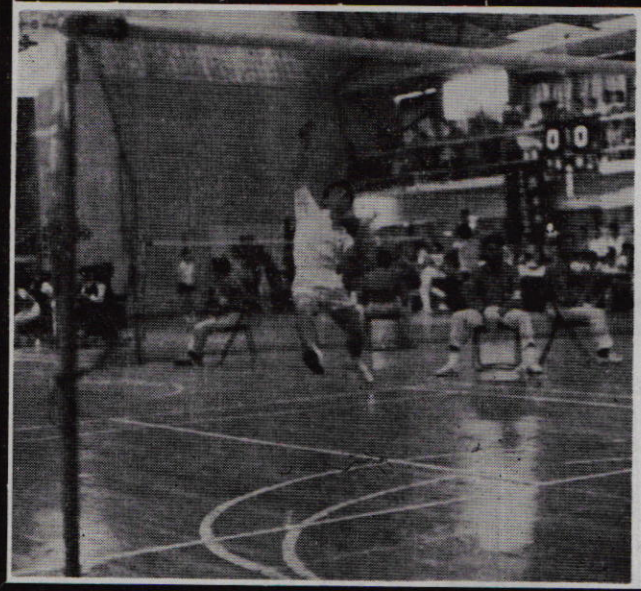


K TOKYO KAWASAKI

素材の厳選　完全な接着

カワサキラケット

KAWASAKI 東京・台東 河崎ラケット工業株式会社



信頼されたGTネット
東京オリンピック
全種目に使用

日本のスポーツネットを代表する製品として注目をあびているGTネットは国内はもとより諸外国にも輸出、愛用されています。
東京オリンピックのネット使用全種目にGTネットが採用されたのはその優秀な実績を高く評価されてのことです。

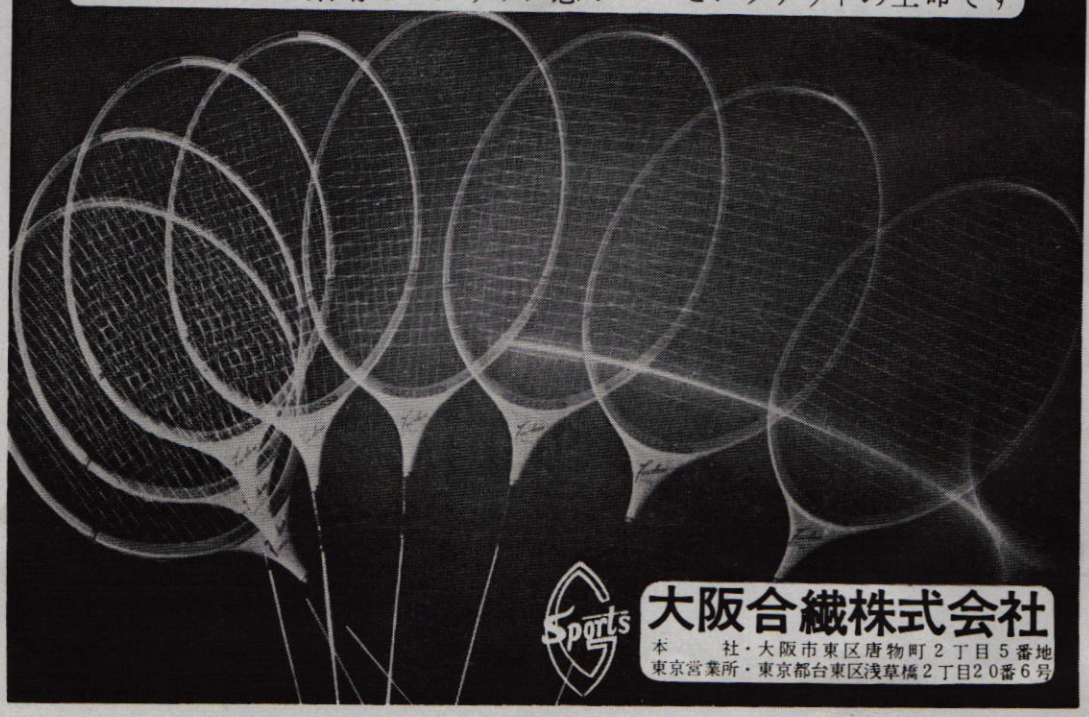
GTスポーツネット

日本バドミントン協会公認

株式会社 ジィティィ
本社 大阪市南区東平野町2の25
電話代表(762)1525
東京店 東京都墨田区厩橋1の1
電話代表(623)7155

HY-MAX
FEARLESS

ゴーセンガットHY-SHEEP
強力な反撥力と素晴しいグリップ感がゴーセンラケットの生命です



Sports
大阪合繊株式会社
本社・大阪市東区唐物町2丁目5番地
東京営業所・東京都台東区浅草橋2丁目20番6号

大　会　役　員

大会名誉会長	日本バドミントン協会会長	本田弘敏
	九州バドミントン連盟会長	森　俊雄
	北九州市長	吉田法晴
大会名誉顧問	労働大臣	石田博英
	スポーツ振興財団副会長	靱　勉
	福岡県知事	鵜崎多一
	福岡県議会議長	永露政夫
	福岡県体育協会会長	安川　寛
	北九州市議会議長	明石清彦
大会会長	日本実業団バドミントン連盟会長	米沢　滋
大会副会長	北九州市バドミントン協会会長	岡崎春雄
	日本バドミントン協会副会長	村岡四郎
		広田兼敏
	日本実業団バドミントン連盟副会長	鈴木　允
		山田哲三

顧　問（五十音順）

赤羽善蔵	鮎川武雄	今中次磨	梅崎克巳	宇城信五郎	大坪　純
小原新平	大岡茂雄	小田都男	金子秀三	菊池安右衛門	木村照彦
清永盛樹	楠根宗生	工藤　栄	桜井正美	佐々木亀	佐々木実
城取文雄	住本利男	田中丸重雄	田中斉之	段谷弘忠	坪根政治
寺田金司	土居寧文	灘吉虎夫	新山半治郎	根津菊次郎	野口義夫
畑中　直	原寿万夫	比佐友香	樋口泰郎	平井富三郎	堀　勇助
益井三弘	松尾清一郎	松田　武	松本兼二郎	百田正弘	森　元芳
山崎宮市	山本アキ子	山本秀祐			

参　与

合原一男	安部忠孝	石川　茂	池水幸夫	板谷長七	市橋清治
岩谷　保	上田　武	浦野重一	大坪　司	大谷秀水	大場哲生
小野正之	岡田政吉	岡野　満	岡橋武夫	小南信義	奥田次郎市
片村実造	菊竹仁三	城戸寿彦	栗原潤吉	熊谷　治	坂本　勲
末松喜一郎	立花貫一郎	田中　進	坪根一二	津田慶治郎	中村規矩男
中村忠夫	中村健治	永島　保	永田卓也	原田嘉明	平田好正
本郷慰与男	松田国男	真鍋良金	美山　豊	八木下竣三	安岡清一郎
山田　弘	横尾熊彦	吉田朝次郎	吉田三二	吉田正実	米村二夫

大　会　役　員

大会委員長	日本バドミントン協会理事長	森　友　徳兵衛
大会副委員長	日本実業団バドミントン連盟理事長	増　井　益　二
	福岡県バドミントン協会理事長	和　田　　寿

大会委員

川端　昇市	高倉　正治	五十嵐正信	秋元　信一	今井　先	吹田　修一
小宮　淳宏	内藤　安雄	伊沢　三郎	市嶋智三郎	塩川　甫	櫨山　正雄
毛利　清志	杉山　健治	辰市　祐昭	宮山　昇三	吉木　実	伊藤　照男
平木　武美	田中　和康	吉松　主税	鐘ケ江聖次	林　一人	赤崎　節子
吉田　信之	井上儀平次	成井　政一	青木　宏	日置　良彦	

総務委員長	日本バドミントン協会常務理事	相　場　清　一
総務副委員長	日本実業団バドミントン連盟常務理事	並　木　万次郎
	福岡県バドミントン協会副会長	中　村　高　治
	福岡県バドミントン協会理事	箱　崎　正　夫

総務委員

大西　克巳	山田　義治	高田　等	柳　利信	多賀　常次	杉田　治人
本田　義種	藤木　隆寛	渕上　英紀	石井　保	松延　彰友	勝野　雅文
島本　栄	佐藤　紘一	筒井　悟	後藤　崇行	横尾　驍	新屋安良士
瀬藤　照彦	工藤　陽三	矢野　嘉	永山　員美	脇田　虎一	村上　弥
広永　恵子	吉松　弘子	高沢　正晃	加来　利昭	都　英幸	荒田　征勇
吉田　信之	赤崎　節子				

競　技　役　員

競技委員長	日本バドミントン協会常務理事	斉藤　健太郎
競技副委員長	福岡県バドミントン協会副会長	三原　邦吾
	福岡県バドミントン協会理事	三沢　英二
審判長	日本バドミントン協会常務理事	伊藤　基記
副審判長	日本実業団バドミントン連盟常務理事	杉山　健治
	福岡県バドミントン協会理事	遠山　励

審判員　第1会場（北九州大学）

1コート	主任	多賀常次	副主任	佐藤紘一
2コート	〃	秋山精一	〃	元重邦博
3コート	〃	荒田征勇	〃	竹下保雄
4コート	〃	水上　理	〃	宮原秀三
5コート	〃	津守幸助	〃	渡辺恒輔
6コート	〃	吉田信之	〃	福丸卓弥

審判員　第2会場（小倉体育館）

1コート	主任	増田勝次郎	副主任	加来利昭
2コート	〃	都　英幸	〃	中津留豊
3コート	〃	壱岐隆道	〃	桜田武久
4コート	〃	春野良三	〃	藤元和己
5コート	〃	新美吉武	〃	久保伍夫
6コート	〃	高田　等	〃	筒井　悟

会場委員

第1会場

主任	日置良彦	副主任	柳　利信

第2会場

主任	本田義種	副主任	矢野　嘉

進行委員

第1会場

主任	藤木隆寛	副主任	山田義治
委員	瀬藤照彦		松延彰友

第2会場

主任	杉田治人	副主任	横尾　曉
委員	大林重行		井上秀夫

競　技　役　員

記録委員	第1会場			
		主任	渕上英紀	副主任　吉松主税
	第2会場			
		主任	井上儀平次	副主任　石井　保
掲示委員	第1会場			
		主任	勝野雅文	副主任　青木　宏
	第2会場			
		主任	辰市祐昭	副主任　新谷安良士
シャトル委員	第1会場			
		主任	工藤陽三	
	第2会場			
		主任	中村高治	
報道委員	第1会場			
		主任	宮山昇三	副主任　吉松弘子
	第2会場			
		主任	筒井　悟	副主任　吉原テル子
受付接待委員	第1会場			
		主任	大西克巳	副主任　井形尚子
		委員	岩尾洋子	
	第2会場			
		主任	島本　栄	副主任　後藤妙子
式典委員		主任	日置良彦	副主任　瀬藤照彦
救護委員	第1会場			
		主任	敷田光子	副主任　森山紀代子
	第2会場			
		主任	望月郁子	副主任　牟礼キヨ子

大　会　日　程

式　次　第

1　開　会　式　　6月18日　AM 9．00　　北九州大学体育館

1	役員選手集合	（AM 8．30）
2	秩父宮妃殿下ご臨席	
3	選手入場	
4	開式通告	
5	国歌斉唱	
6	開会宣言	大会委員長　森友徳兵衛
7	優勝杯返還	
8	挨拶	大会会長　米沢滋
9	祝辞	大会名誉会長　本田弘敏
		九州バドミントン連盟会長　森俊雄
10	秩父宮妃殿下のお言葉	
11	歓迎の辞	北九州市長　吉田法晴
12	選手宣誓	北九州市役所　渕上英紀
13	競技上の注意	審判長　伊藤基記
14	「若い力」斉唱	（2番迄）
15	万才三唱	北九州市議会議長　明石清彦
16	閉式通告	
17	選手退場	

2　閉　会　式　　6月22日　　市立小倉体育館

1	役員選手整列	
2	開式通告	
3	成績発表	競技委員長　斉藤健太郎
4	表彰	
5	挨拶	大会副会長　岡崎春雄
		北九州市教育委員長　大岡茂雄
6	閉会宣言	
7	閉式通告	大会委員長　森友徳兵衛
8	役員選手退場	

競　技　日　程

第1日	（6．18 AM 10．00）	男子団体・女子団体
第2日	（6．19 AM 9．00）	〃　〃
第3日	（6．20 AM 9．00）	男子・女子個人戦
第4日	（6．21 AM 9．00）	〃
第5日	（6．22 AM 9．00）	〃

大　会　の　注　意

1　選手は試合開始1時間前に到着し、責任者は進行係に伝えること。
2　コート及び時間は変更されることがあります。
3　競技区域内には競技者及び役員以外は入らないようにして下さい。
4　各自持物には十分気をつけて下さい。

試合時間表 (1)

□ は決勝及び3位決定戦

会場			第1会場（北九大体育館）						第2会場（小倉体育館）					
種目	日時	コート番号	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
団体戦	第1日	10.00	MT 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 7	〃 8	MT 5	〃 6	LT 1	〃 2	〃 3	〃 4
		12.00	MT10	〃 11	〃 14	〃 15	〃 22	〃 23	MT18	〃 19	LT 5	〃 6	〃 7	〃 8
		14.00	MT 9	〃 12	〃 13	〃 16	〃 21	〃 24	MT17	〃 20	LT 9	〃 10		
		16.30	MT25	〃 26	〃 27	〃 28	〃 31	〃 32	MT29	〃 30	LT11	〃 12	〃 13	〃 14
	第2日	9.00	MT33	〃 34	〃 35	〃 36								
		11.00	LT15	〃 16										
		11.30			MT37	〃 38								
		13.30	LT17	〃 18										
		14.00			MT39	〃 40								
個人戦	第3日	9.00	MD 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 5	〃 6	LD 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 5	〃 6
		9.30	MD 7	〃 8	〃 9	〃 10	〃 11	〃 12	30D 1	〃 2	〃 3	〃 4	40D 1	〃 2
		10.00	MD13	〃 14	〃 15	〃 16	〃 17	〃 18	LD 7	〃 8	〃 9	〃 10	〃 11	〃 12
		10.30	MD19	〃 20	〃 21	〃 22	〃 23	〃 24	LD13	〃 14	〃 15	〃 16	〃 17	〃 18
		11.00	MD25	〃 26	〃 27	〃 28	〃 29	〃 30	30D 5	〃 6	〃 7	〃 8	LD19	〃 20
		11.30	MD31	〃 32	〃 33	〃 34	〃 35	〃 36	LD21	〃 22	〃 23	〃 24	〃 25	〃 26
		12.00	MD37	〃 38	〃 39	〃 40	〃 41		30D 9	〃 10	40D 3	〃 4		
		12.30	MD42	〃 43	〃 44	〃 45			LD27	〃 28	〃 29	〃 30		
		13.00	MD46	〃 47	MD48	〃 49	MS 1	〃 2	40S 1	〃 2	〃 3	30D11	〃 12	
		13.30	MS 3	〃 5			MS 6	〃 7	LD31	〃 32				
		14.00	MS 4	〃 8	〃 9	〃 10	〃 11	〃 12	30S 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 5	〃 6
		14.30	MS13	〃 14	〃 15	〃 16	〃 17	〃 18	LD33	〃 34	30S 7	〃 8	〃 9	〃 10
		15.00	MD50	〃 51	MS19	〃 20	〃 21	〃 22	30S11	〃 12	〃 13	〃 14	〃 15	40S 4
		15.30	MS23	〃 24	〃 25	〃 26	〃 27	〃 28	LS 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 5	40S 5
		16.00	MS29	〃 30	〃 31	〃 32	〃 34	〃 35	LS 6	〃 7	〃 8	〃 9	〃 10	〃 11
		16.30	MD52	〃 53					LS12	〃 13	〃 14	〃 15	〃 16	〃 17
		17.00	MS36	〃 37	〃 38	〃 39	〃 42	〃 43	LS18	〃 19	〃 20	〃 21	〃 22	〃 23
		17.30	MS44	〃 45	〃 46	〃 47	〃 48	〃 50						

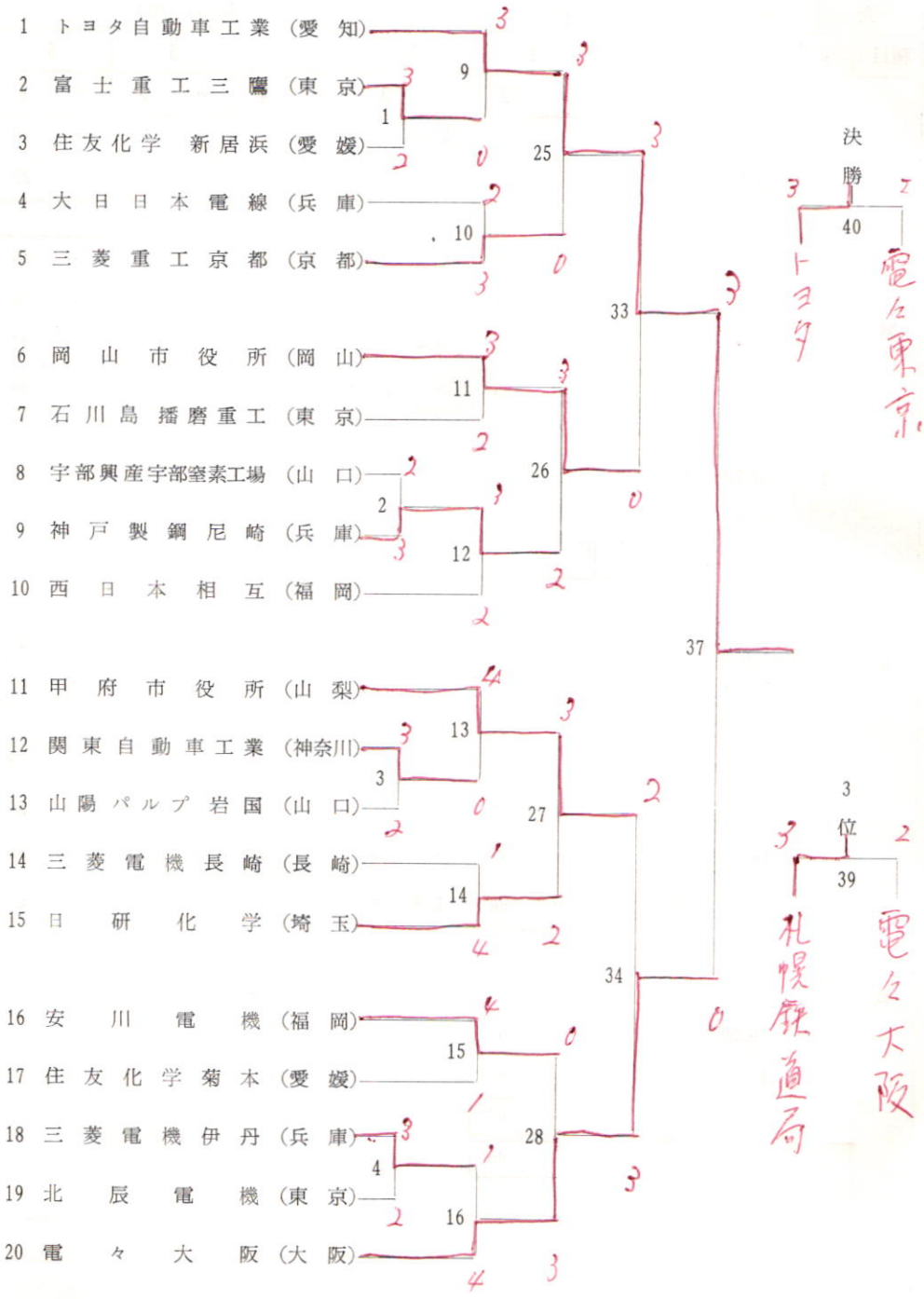
MT・男子団体
LT・女子団体
MD・一般男子複
MS・一般男子単
LS・女子単
LD・女子複

30D・30代男子複
40S・40代男子単
30S・30代男子単
40D・40代男子複
混・混合

試合時間表 (2)

会場			第2会場（小倉体育館）					
種目	日時 ＼ コート番号		1	2	3	4	5	6
個人戦	第4日	9.00	混 1	〃 2	〃 3	〃 4	〃 5	〃 6
		9.30	混 7	〃 8	30S 16	〃 17	〃 18	〃 19
		10.00	混 9	〃 10	30S 20	〃 21	〃 22	〃 23
		10.30	MS 51	〃 52	混 13	〃 14	40S 6	〃 7
		11.00	混 11	〃 12	MS 33	〃 40	〃 41	〃 49
		11.30	MS 53	〃 54	〃 55	〃 57	〃 58	〃 59
		12.00	混 15	〃 16	30S 24	〃 25	〃 26	〃 27
		12.30	LS 24	〃 25	〃 26	〃 27	〃 29	〃 30
		13.00	LS 28	〃 31	〃 32	〃 33	〃 34	〃 35
		13.30	MS 56	〃 60	〃 61	〃 62	〃 63	〃 64
		14.00	MS 66	〃 67	〃 68	〃 69	〃 70	〃 71
		14.30	混 17	〃 18			30S 28	〃 29
		15.00	MS 72	〃 73	〃 74	〃 76	〃 77	〃 78
		15.30	LS 36	〃 37	〃 38	〃 39	〃 40	〃 41
		16.00	LS 42	〃 43	〃 44	〃 45	〃 46	〃 47
		16.30	LS 48	〃 49	〃 50	〃 51		
		17.00	MS 65	〃 75	〃 79	〃 80	LS 52	〃 53
		17.30	LS 54	〃 55	〃 56	〃 57	〃 58	〃 59
		18.00	MS 81	〃 82	〃 83	〃 84	〃 85	〃 86
戦	第5日	9.00	MS 87	〃 88	LS 60	〃 61	〃 62	〃 63
		9.30	30S 30	〃 31				
		10.00	MS 89	〃 90	〃 91	〃 92		
		10.30	LS 64	〃 65				
		11.00	MS 93	〃 94				
		11.30	LS 66	〃 67				
		12.00	MS 95	〃 96				

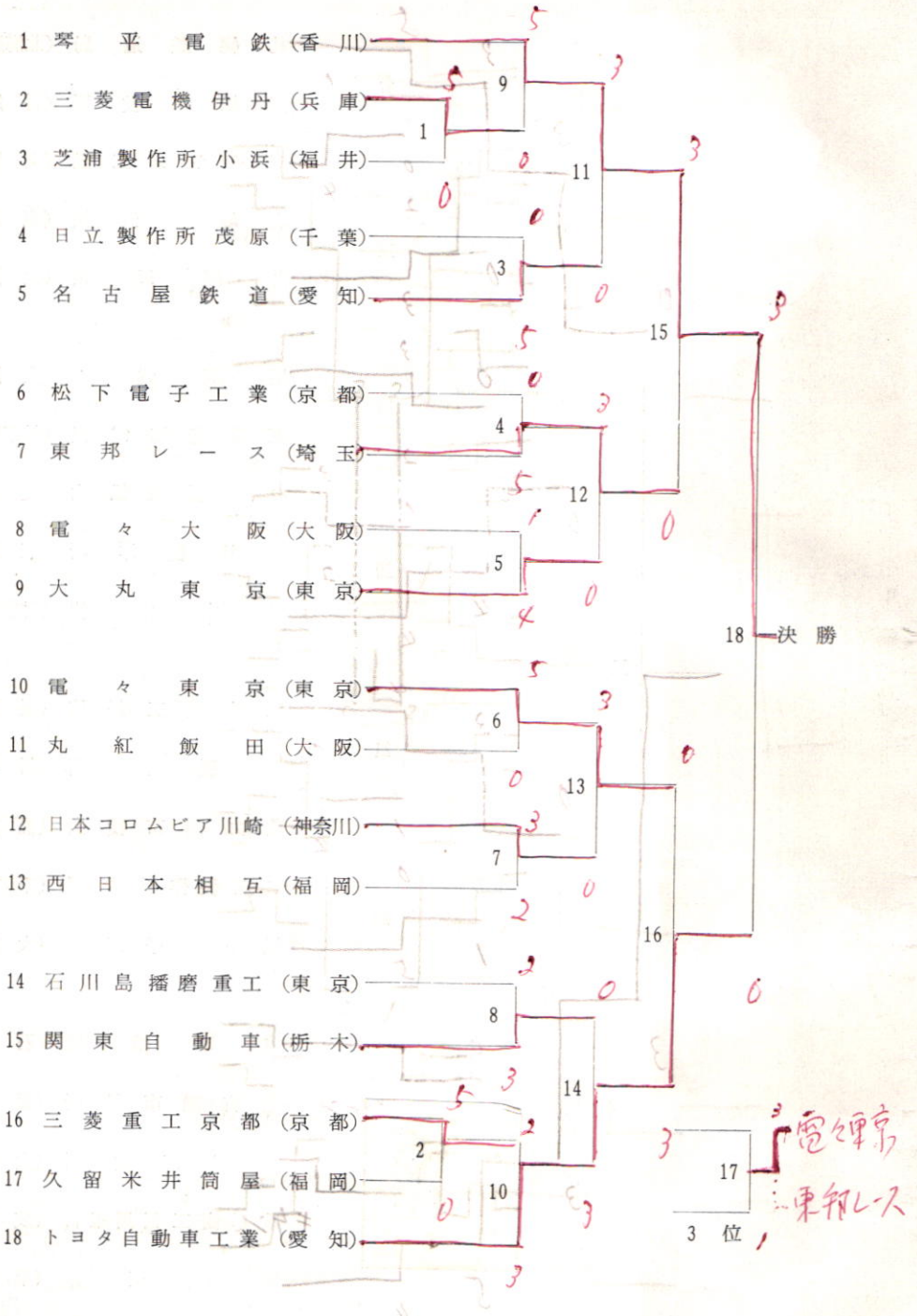
男子団体 (1) 〔MT〕


1 トヨタ自動車工業 (愛知)
2 富士重工三鷹 (東京)
3 住友化学新居浜 (愛媛)
4 大日日本電線 (兵庫)
5 三菱重工京都 (京都)
6 岡山市役所 (岡山)
7 石川島播磨重工 (東京)
8 宇部興産宇部窒素工場 (山口)
9 神戸製鋼尼崎 (兵庫)
10 西日本相互 (福岡)
11 甲府市役所 (山梨)
12 関東自動車工業 (神奈川)
13 山陽パルプ岩国 (山口)
14 三菱電機長崎 (長崎)
15 日研化学 (埼玉)
16 安川電機 (福岡)
17 住友化学菊本 (愛媛)
18 三菱電機伊丹 (兵庫)
19 北辰電機 (東京)
20 電々大阪 (大阪)
決勝
トヨタ
電々東京
3位
札幌鉄道局
電々大阪

男 子 団 体 (2) 〔MT〕


札 幌 鉄 道 局 (北海道) 21
高 松 市 役 所 (香 川) 22
ダ イ キ ン 工 業 (大 阪) 23
岩 崎 通 信 機 (東 京) 24
丸 紅 飯 田 (大 阪) 25
国 際 電 々 (大 阪) 26
東 京 芝 浦 電 機 (神奈川) 27
丸 善 石 油 松 山 (愛 媛) 28
島 津 製 作 所 (京 都) 29
日 本 鋼 管 (神奈川) 30
三 菱 重 工 長 崎 (長 崎) 31
㮚 製 作 所 (新 潟) 32
北 九 州 市 役 所 (福 岡) 33
日立製作所茂原 (千 葉) 34
松 下 電 子 工 業 (大 阪) 35
倉 庫 精 練 (石 川) 36
名 古 屋 市 役 所 (愛 知) 37
日 田 市 役 所 (大 分) 38
岐阜商工信用組合 (岐 阜) 39
電 々 東 京 (東 京) 40

女　子　団　体　〔ＬＴ〕


1 琴　平　電　鉄（香　川）
2 三　菱　電　機　伊　丹（兵　庫）
3 芝　浦　製　作　所　小　浜（福　井）
4 日　立　製　作　所　茂　原（千　葉）
5 名　古　屋　鉄　道（愛　知）
6 松　下　電　子　工　業（京　都）
7 東　邦　レ　ー　ス（埼　玉）
8 電　々　大　阪（大　阪）
9 大　丸　東　京（東　京）
10 電　々　東　京（東　京）
11 丸　紅　飯　田（大　阪）
12 日本コロムビア川崎（神奈川）
13 西　日　本　相　互（福　岡）
14 石　川　島　播　磨　重　工（東　京）
15 関　東　自　動　車（栃　木）
16 三　菱　重　工　京　都（京　都）
17 久　留　米　井　筒　屋（福　岡）
18 トヨタ自動車工業（愛　知）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18 決　勝
3 位
電々東京
東邦レース



TOYODA

株式会社 バドミントン トヨダ



Shuttle Cock

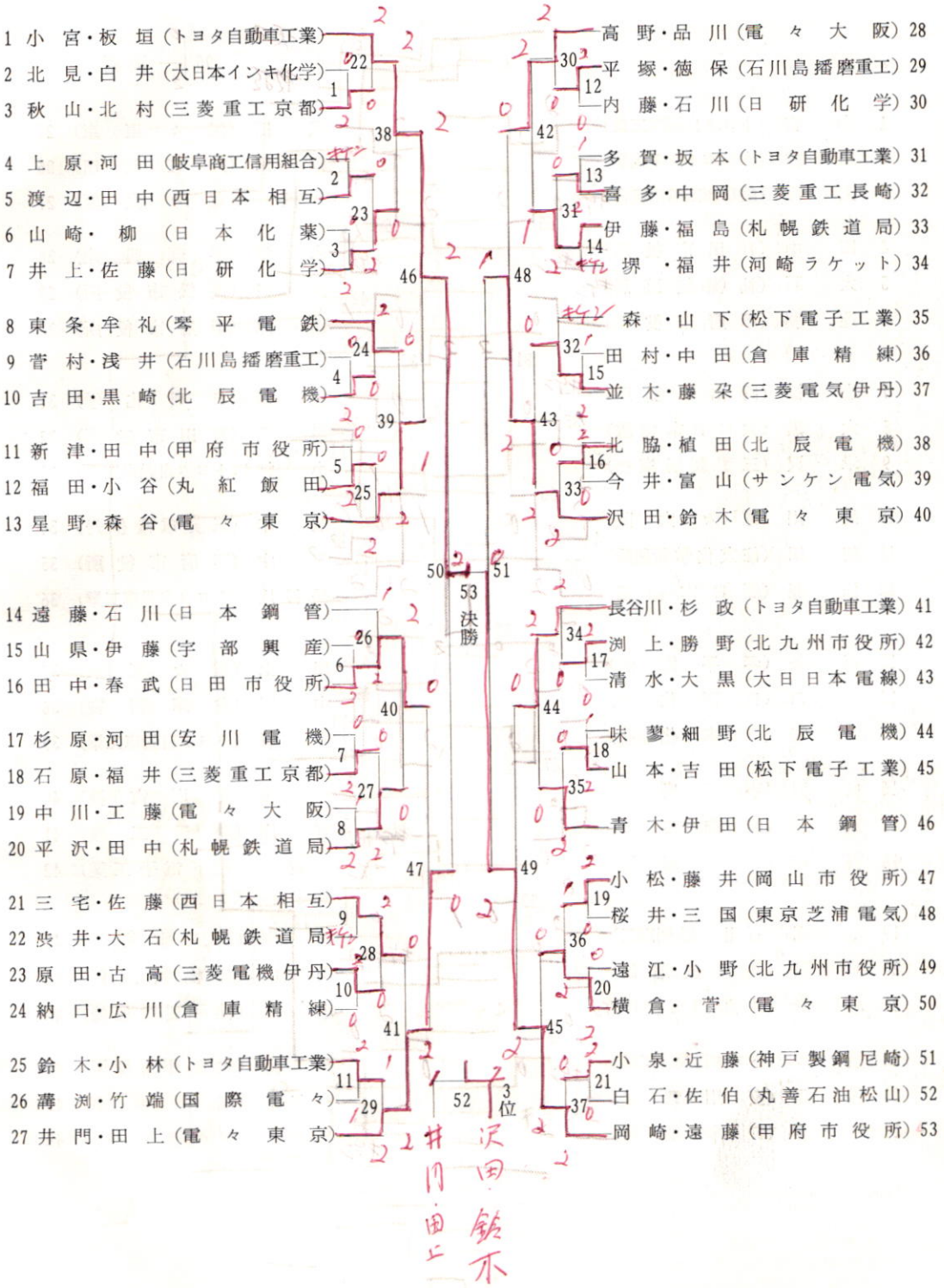
全身に残る胸のすく打球感。
丈夫で、むらのないサンバタ shuttle cock

株式会社 **諸江製作所**

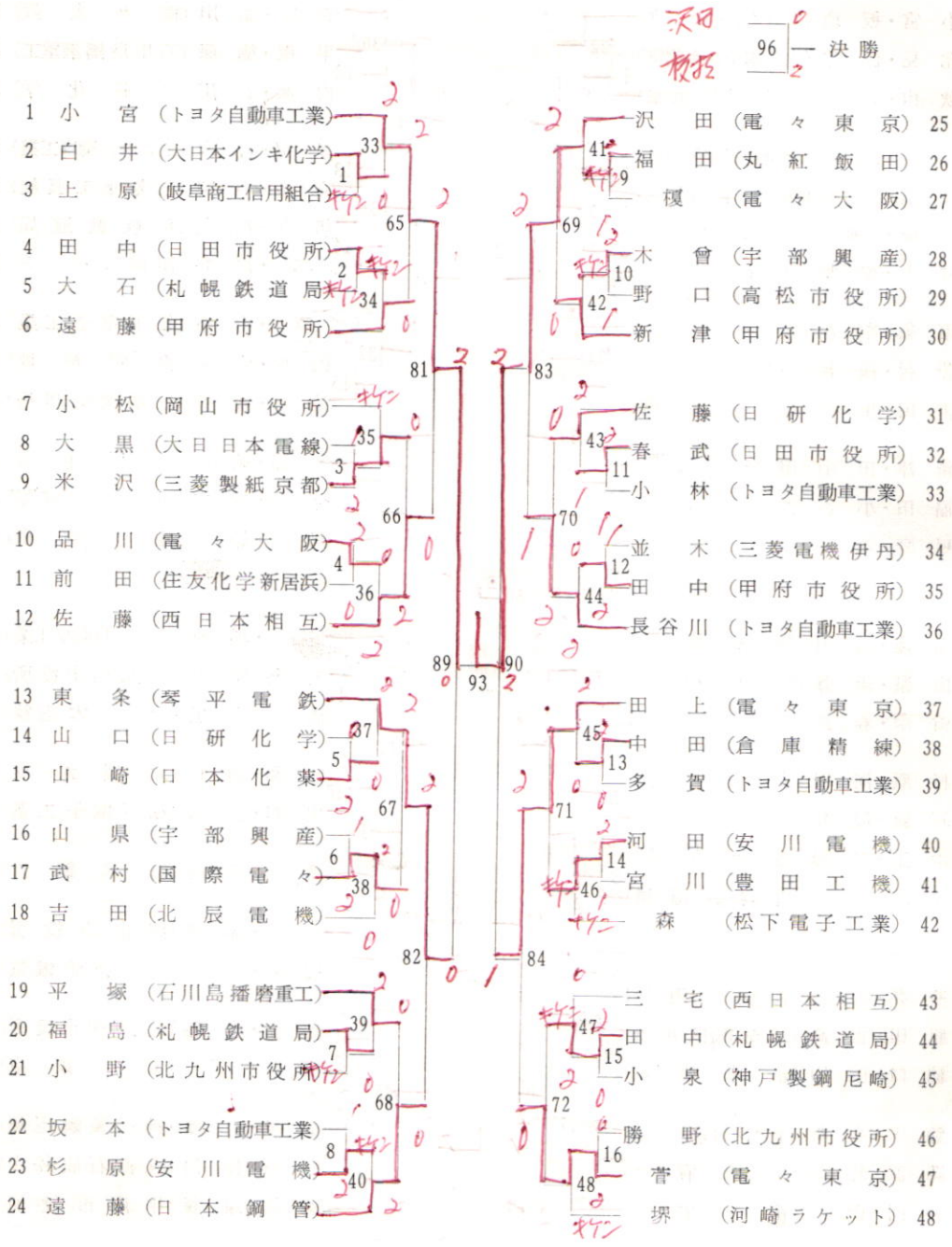
東京都渋谷区笹塚2丁目46番地電話(377)4401(代)

本年度検定合格球

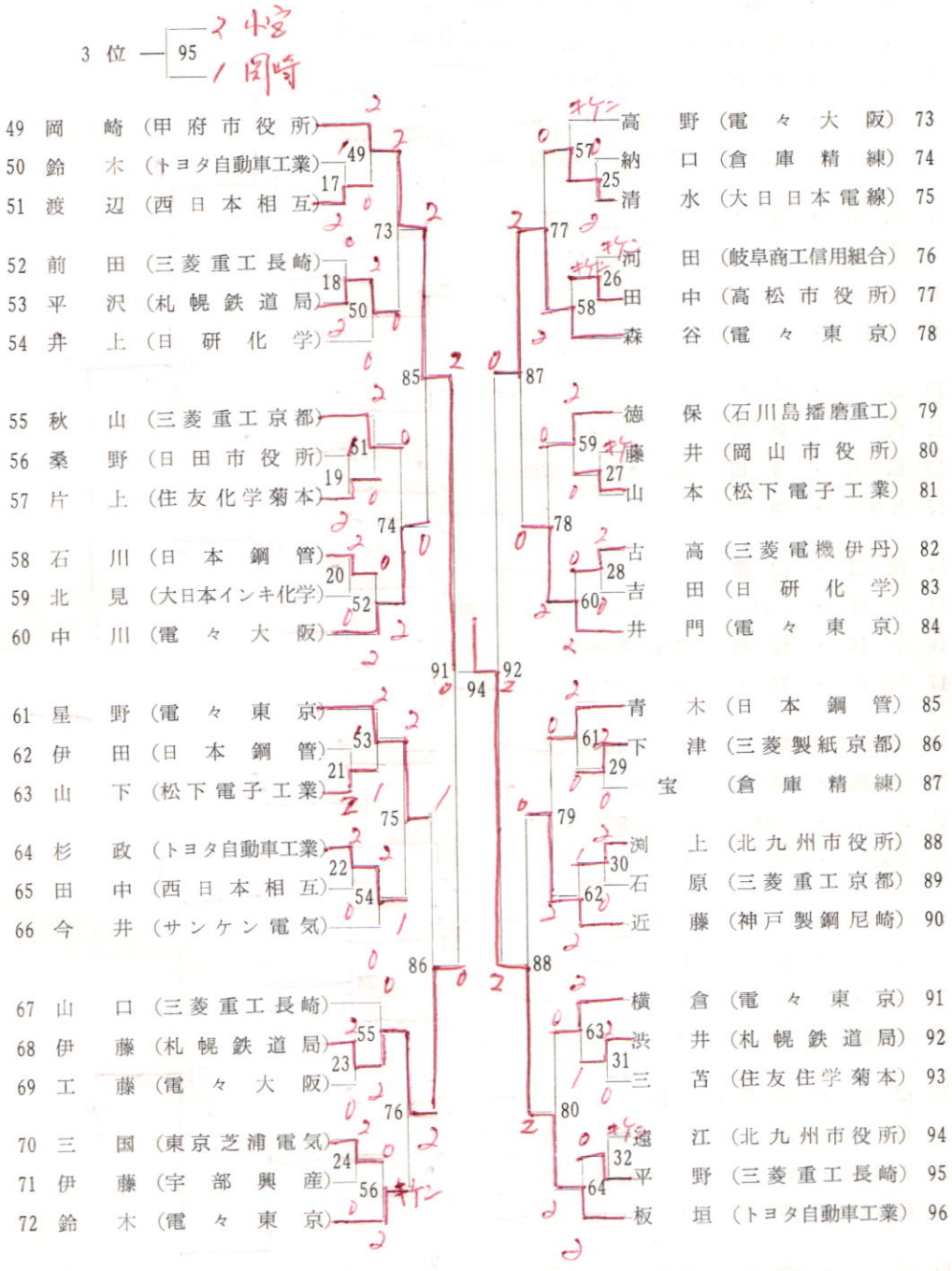
一 般 男 子 複 〔MD〕


1 小 宮・板 垣（トヨタ自動車工業）
2 北 見・白 井（大日本インキ化学）
3 秋 山・北 村（三菱重工京都）
4 上 原・河 田（岐阜商工信用組合）
5 渡 辺・田 中（西日本相互）
6 山 崎・ 柳 （日 本 化 薬）
7 井 上・佐 藤（日 研 化 学）
8 東 条・牟 礼（琴 平 電 鉄）
9 菅 村・浅 井（石川島播磨重工）
10 吉 田・黒 崎（北 辰 電 機）
11 新 津・田 中（甲 府 市 役 所）
12 福 田・小 谷（丸 紅 飯 田）
13 星 野・森 谷（電 々 東 京）
14 遠 藤・石 川（日 本 鋼 管）
15 山 県・伊 藤（宇 部 興 産）
16 田 中・春 武（日 田 市 役 所）
17 杉 原・河 田（安 川 電 機）
18 石 原・福 井（三菱重工京都）
19 中 川・工 藤（電 々 大 阪）
20 平 沢・田 中（札 幌 鉄 道 局）
21 三 宅・佐 藤（西 日 本 相 互）
22 渋 井・大 石（札 幌 鉄 道 局）
23 原 田・古 高（三菱電機伊丹）
24 納 口・広 川（倉 庫 精 練）
25 鈴 木・小 林（トヨタ自動車工業）
26 薄 渕・竹 端（国 際 電 々）
27 井 門・田 上（電 々 東 京）
高 野・品 川（電 々 大 阪）28
平 塚・徳 保（石川島播磨重工）29
内 藤・石 川（日 研 化 学）30
多 賀・坂 本（トヨタ自動車工業）31
喜 多・中 岡（三菱重工長崎）32
伊 藤・福 島（札 幌 鉄 道 局）33
堺 ・福 井（河崎ラケット）34
森 ・山 下（松下電子工業）35
田 村・中 田（倉 庫 精 練）36
並 木・藤 染（三菱電気伊丹）37
北 脇・植 田（北 辰 電 機）38
今 井・富 山（サンケン電気）39
沢 田・鈴 木（電 々 東 京）40
長谷川・杉 政（トヨタ自動車工業）41
渕 上・勝 野（北九州市役所）42
清 水・大 黒（大日日本電線）43
味 夢・細 野（北 辰 電 機）44
山 本・吉 田（松下電子工業）45
青 木・伊 田（日 本 鋼 管）46
小 松・藤 井（岡 山 市 役 所）47
桜 井・三 国（東京芝浦電気）48
遠 江・小 野（北九州市役所）49
横 倉・ 菅 （電 々 東 京）50
小 泉・近 藤（神戸製鋼尼崎）51
白 石・佐 伯（丸善石油松山）52
岡 崎・遠 藤（甲 府 市 役 所）53
決勝
3位
井門田上
沢田鈴木

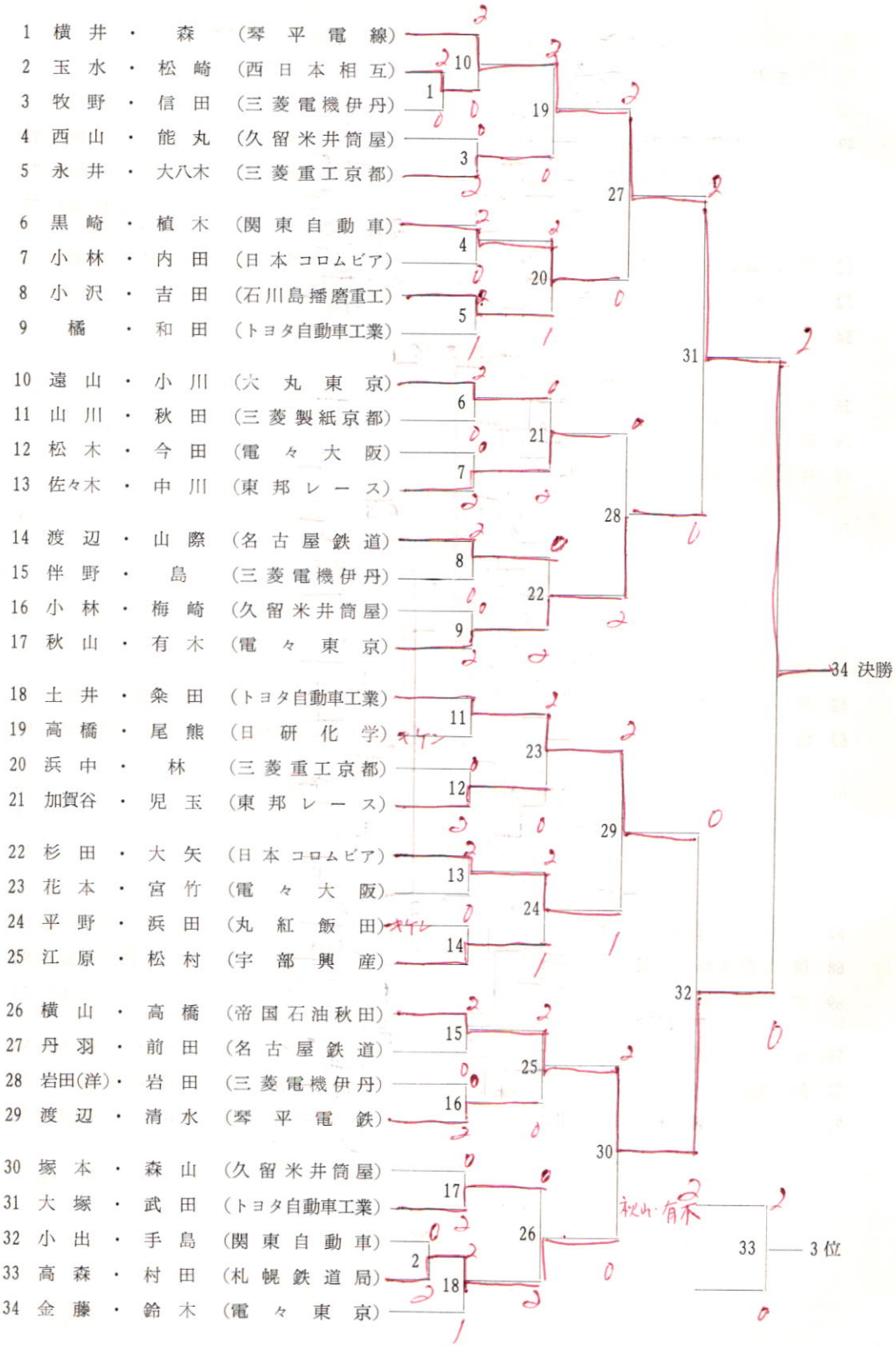
一般男子単 (1) 〔MS〕


96 — 決勝
1 小 宮 (トヨタ自動車工業)
2 白 井 (大日本インキ化学)
3 上 原 (岐阜商工信用組合)
4 田 中 (日 田 市 役 所)
5 大 石 (札 幌 鉄 道 局)
6 遠 藤 (甲 府 市 役 所)
7 小 松 (岡 山 市 役 所)
8 大 黒 (大日日本電線)
9 米 沢 (三菱製紙京都)
10 品 川 (電 々 大 阪)
11 前 田 (住友化学新居浜)
12 佐 藤 (西 日 本 相 互)
13 東 条 (琴 平 電 鉄)
14 山 口 (日 研 化 学)
15 山 崎 (日 本 化 薬)
16 山 県 (宇 部 興 産)
17 武 村 (国 際 電 々)
18 吉 田 (北 辰 電 機)
19 平 塚 (石川島播磨重工)
20 福 島 (札 幌 鉄 道 局)
21 小 野 (北九州市役所)
22 坂 本 (トヨタ自動車工業)
23 杉 原 (安 川 電 機)
24 遠 藤 (日 本 鋼 管)
沢 田 (電 々 東 京) 25
福 田 (丸 紅 飯 田) 26
榎 (電 々 大 阪) 27
木 曾 (宇 部 興 産) 28
野 口 (高 松 市 役 所) 29
新 津 (甲 府 市 役 所) 30
佐 藤 (日 研 化 学) 31
春 武 (日 田 市 役 所) 32
小 林 (トヨタ自動車工業) 33
並 木 (三菱電機伊丹) 34
田 中 (甲 府 市 役 所) 35
長谷川 (トヨタ自動車工業) 36
田 上 (電 々 東 京) 37
中 田 (倉 庫 精 練) 38
多 賀 (トヨタ自動車工業) 39
河 田 (安 川 電 機) 40
宮 川 (豊 田 工 機) 41
森 (松下電子工業) 42
三 宅 (西 日 本 相 互) 43
田 中 (札 幌 鉄 道 局) 44
小 泉 (神戸製鋼尼崎) 45
勝 野 (北九州市役所) 46
菅 (電 々 東 京) 47
堺 (河 崎 ラ ケ ッ ト) 48

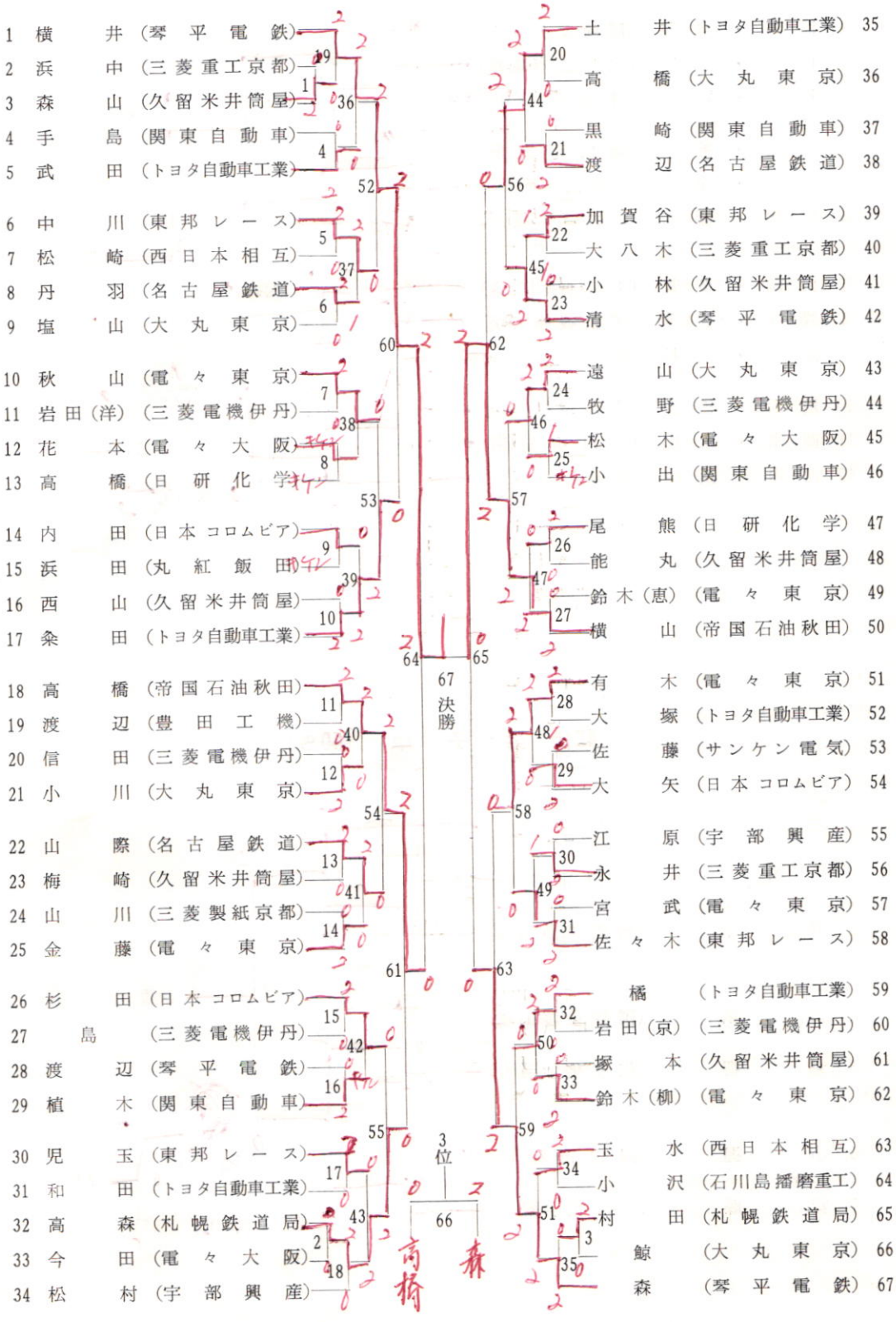
一般男子単 (2) 〔MS〕


3 位
95
49 岡 崎 (甲府市役所)
50 鈴 木 (トヨタ自動車工業)
51 渡 辺 (西日本相互)
52 前 田 (三菱重工長崎)
53 平 沢 (札幌鉄道局)
54 井 上 (日研化学)
55 秋 山 (三菱重工京都)
56 桑 野 (日田市役所)
57 片 上 (住友化学菊本)
58 石 川 (日本鋼管)
59 北 見 (大日本インキ化学)
60 中 川 (電々大阪)
61 星 野 (電々東京)
62 伊 田 (日本鋼管)
63 山 下 (松下電子工業)
64 杉 政 (トヨタ自動車工業)
65 田 中 (西日本相互)
66 今 井 (サンケン電気)
67 山 口 (三菱重工長崎)
68 伊 藤 (札幌鉄道局)
69 工 藤 (電々大阪)
70 三 国 (東京芝浦電気)
71 伊 藤 (宇部興産)
72 鈴 木 (電々東京)
高 野 (電々大阪) 73
納 口 (倉庫精練) 74
清 水 (大日日本電線) 75
河 田 (岐阜商工信用組合) 76
田 中 (高松市役所) 77
森 谷 (電々東京) 78
徳 保 (石川島播磨重工) 79
藤 井 (岡山市役所) 80
山 本 (松下電子工業) 81
古 高 (三菱電機伊丹) 82
吉 田 (日研化学) 83
井 門 (電々東京) 84
青 木 (日本鋼管) 85
下 津 (三菱製紙京都) 86
宝 (倉庫精練) 87
渕 上 (北九州市役所) 88
石 原 (三菱重工京都) 89
近 藤 (神戸製鋼尼崎) 90
横 倉 (電々東京) 91
渋 井 (札幌鉄道局) 92
三 苫 (住友住学菊本) 93
遠 江 (北九州市役所) 94
平 野 (三菱重工長崎) 95
板 垣 (トヨタ自動車工業) 96

女子複〔LD〕

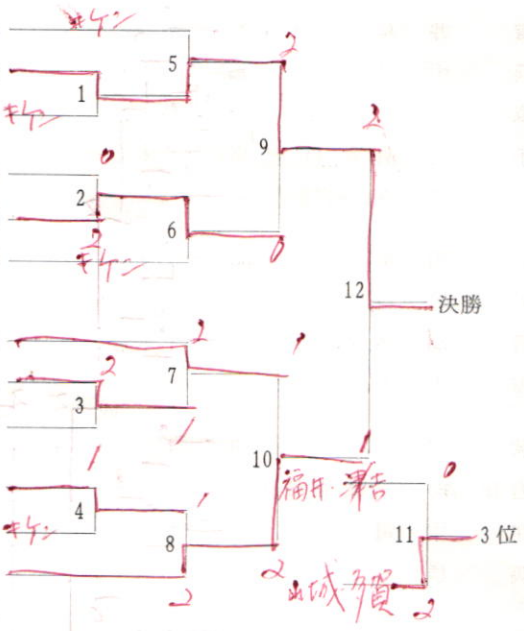

1 横井・森（琴平電線）
2 玉水・松崎（西日本相互）
3 牧野・信田（三菱電機伊丹）
4 西山・能丸（久留米井筒屋）
5 永井・大八木（三菱重工京都）
6 黒崎・植木（関東自動車）
7 小林・内田（日本コロムビア）
8 小沢・吉田（石川島播磨重工）
9 橘・和田（トヨタ自動車工業）
10 遠山・小川（大丸東京）
11 山川・秋田（三菱製紙京都）
12 松木・今田（電々大阪）
13 佐々木・中川（東邦レース）
14 渡辺・山際（名古屋鉄道）
15 伴野・島（三菱電機伊丹）
16 小林・梅崎（久留米井筒屋）
17 秋山・有木（電々東京）
18 土井・桑田（トヨタ自動車工業）
19 高橋・尾熊（日研化学）
20 浜中・林（三菱重工京都）
21 加賀谷・児玉（東邦レース）
22 杉田・大矢（日本コロムビア）
23 花本・宮竹（電々大阪）
24 平野・浜田（丸紅飯田）
25 江原・松村（宇部興産）
26 横山・高橋（帝国石油秋田）
27 丹羽・前田（名古屋鉄道）
28 岩田(洋)・岩田（三菱電機伊丹）
29 渡辺・清水（琴平電鉄）
30 塚本・森山（久留米井筒屋）
31 大塚・武田（トヨタ自動車工業）
32 小出・手島（関東自動車）
33 高森・村田（札幌鉄道局）
34 金藤・鈴木（電々東京）
34 決勝
33 3位

女　子　単〔LS〕


1 横井（琴平電鉄）
2 浜中（三菱重工京都）
3 森山（久留米井筒屋）
4 手島（関東自動車）
5 武田（トヨタ自動車工業）
6 中川（東邦レース）
7 松崎（西日本相互）
8 丹羽（名古屋鉄道）
9 塩山（大丸東京）
10 秋山（電々東京）
11 岩田（洋）（三菱電機伊丹）
12 花本（電々大阪）
13 高橋（日研化学）
14 内田（日本コロムビア）
15 浜田（丸紅飯田）
16 西山（久留米井筒屋）
17 粂田（トヨタ自動車工業）
18 高橋（帝国石油秋田）
19 渡辺（豊田工機）
20 信田（三菱電機伊丹）
21 小川（大丸東京）
22 山際（名古屋鉄道）
23 梅崎（久留米井筒屋）
24 山川（三菱製紙京都）
25 金藤（電々東京）
26 杉田（日本コロムビア）
27 島（三菱電機伊丹）
28 渡辺（琴平電鉄）
29 植木（関東自動車）
30 児玉（東邦レース）
31 和田（トヨタ自動車工業）
32 高森（札幌鉄道局）
33 今田（電々大阪）
34 松村（宇部興産）
35 土井（トヨタ自動車工業）
36 高橋（大丸東京）
37 黒崎（関東自動車）
38 渡辺（名古屋鉄道）
39 加賀谷（東邦レース）
40 大八木（三菱重工京都）
41 小林（久留米井筒屋）
42 清水（琴平電鉄）
43 遠山（大丸東京）
44 牧野（三菱電機伊丹）
45 松木（電々大阪）
46 小出（関東自動車）
47 尾熊（日研化学）
48 能丸（久留米井筒屋）
49 鈴木（恵）（電々東京）
50 横山（帝国石油秋田）
51 有木（電々東京）
52 大塚（トヨタ自動車工業）
53 佐藤（サンケン電気）
54 大矢（日本コロムビア）
55 江原（宇部興産）
56 永井（三菱重工京都）
57 宮武（電々東京）
58 佐々木（東邦レース）
59 橘（トヨタ自動車工業）
60 岩田（京）（三菱電機伊丹）
61 塚本（久留米井筒屋）
62 鈴木（柳）（電々東京）
63 玉水（西日本相互）
64 小沢（石川島播磨重工）
65 村田（札幌鉄道局）
66 鯨（大丸東京）
67 森（琴平電鉄）
決勝
3位
高橋
森

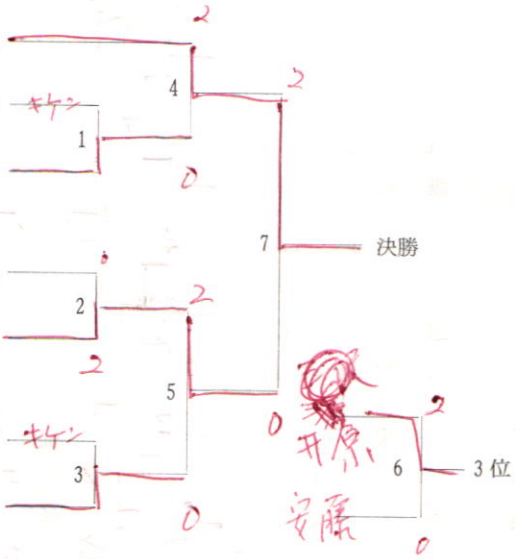
30代 男 子 複 〔30D〕

1 河崎・福井（河崎ラケット）
2 山田・吉田（大日日本電線）
3 梅山・諫元（日田市役所）
4 馬場・神子戸（岡山市役所）
5 福井・津吉（住友化学新居浜）
6 三代・藤木（北九州市役所）
7 山城・多賀（トヨタ自動車工業）
8 浅井・佐々木（国鉄後藤工場）
9 遠山・大林（安川電機）
10 柏木・松永（北九州市役所）
11 岡本・水川（岡山市役所）
12 池内・浜中（丸善石油松山）



40代 男 子 単 〔40S〕

1 三沢（北九州市役所）
2 社（岡山市役所）
3 井原（国鉄後藤工場）
4 田鍬（国鉄後藤工場）
5 越智（住友化学菊本）
6 小梶（岡山市役所）
7 安藤（住友化学菊本）



30代 男子 単 〔30S〕

1 前田（丸菱商事岡山）
2 馬場（岡山市役所）
3 松永（北九州市役所）
4 山田（大日日本電線）
5 三代（北九州市役所）
6 富山（サンケン電気）
7 山城（トヨタ自動車工業）
8 福井（河崎ラケット）
9 神子戸（岡山市役所）
10 福井（住友化学新居浜）
11 松永（国鉄後藤工場）
12 粟（古河電工）
13 藤木（北九州市役所）
14 吉田（大日日本電線）
15 多賀（トヨタ自動車工業）
16 浜中（丸善石油松山）
17 多賀（多賀印刷）
18 岡本（岡山市役所）
19 津吉（住友化学新居浜）
20 河崎（河崎ラケット）
21 佐々木（国鉄後藤工場）
22 大林（安川電機）
23 池田（電々大阪）
24 斉藤（東京中日）
25 大島（住友化学新居浜）
26 池内（丸善石油松山）
27 柏木（北九州市役所）
28 水川（岡山市役所）
29 浅井（国鉄後藤工場）
30 野口（高松市役所）
31 溝渕（国際電々）

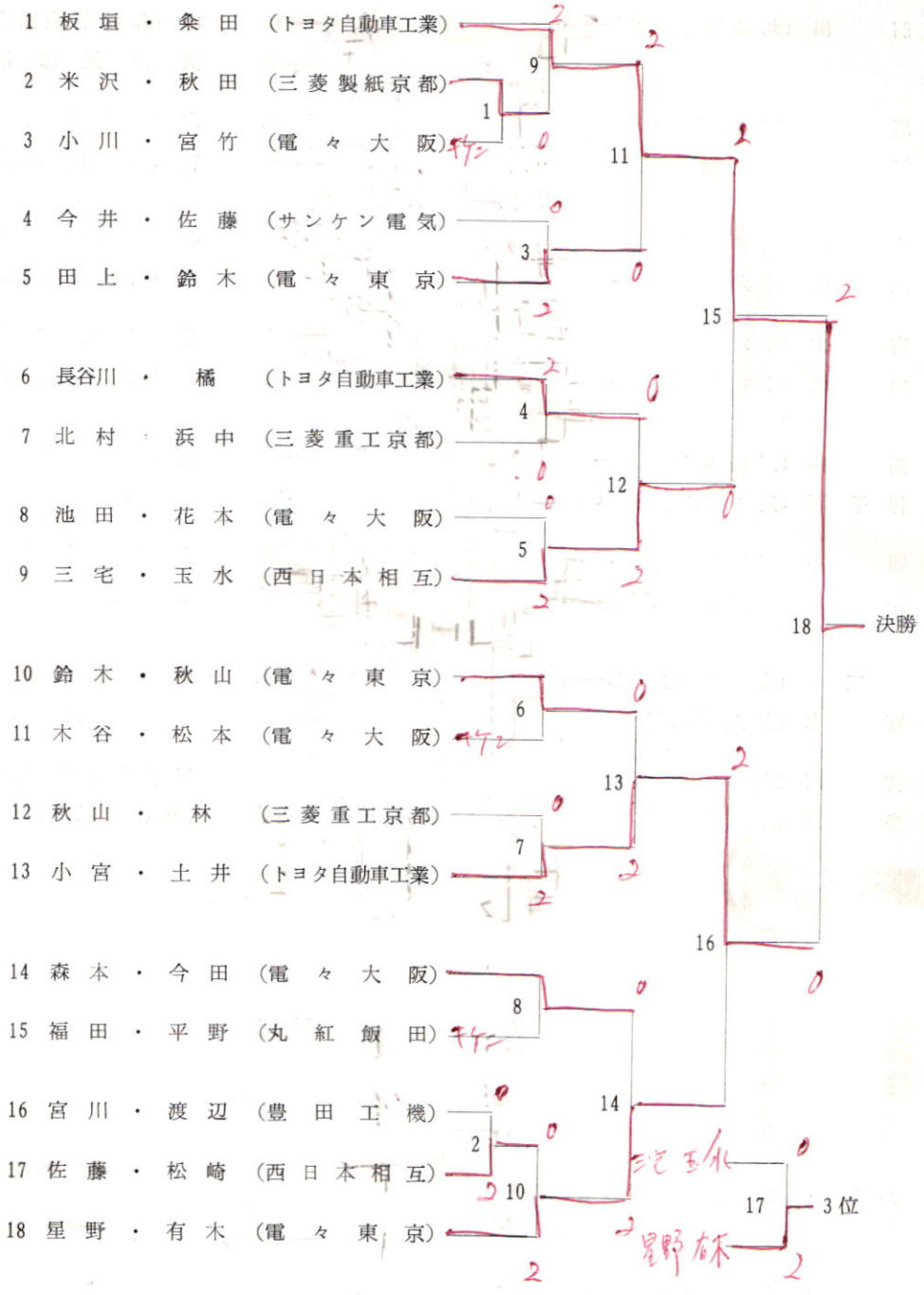
決勝
3位

40代 男子 複 〔40D〕

1 越智・安藤（住友化学菊本）
2 井原・田鍬（国鉄後藤工場）
3 社・小梶（岡山市役所）
4 三沢・坂本（北九州市役所）

決勝
3位

混　　合　〔混〕


1 板垣・桑田（トヨタ自動車工業）
2 米沢・秋田（三菱製紙京都）
3 小川・宮竹（電々大阪）
4 今井・佐藤（サンケン電気）
5 田上・鈴木（電々東京）
6 長谷川・橘（トヨタ自動車工業）
7 北村・浜中（三菱重工京都）
8 池田・花本（電々大阪）
9 三宅・玉水（西日本相互）
10 鈴木・秋山（電々東京）
11 木谷・松本（電々大阪）
12 秋山・林（三菱重工京都）
13 小宮・土井（トヨタ自動車工業）
14 森本・今田（電々大阪）
15 福田・平野（丸紅飯田）
16 宮川・渡辺（豊田工機）
17 佐藤・松崎（西日本相互）
18 星野・有木（電々東京）
決勝
3位



都筑バドミントン製作所

株式会社 三和

株式会社 米山製作所

大阪合繊株式会社

有限会社 ジャワ商会

諸江製作所

マルエムバドミントン用品製作所

株式会社 バドミントン・トヨダ

第１回以来検定合格

昨年度世界選手権大会並各選手権大会御使用

YM ミセキネツト製作所

埼玉県幸手(さつて)町助町（東武日光線 幸手駅下車）

TEL（埼玉幸手）３７９

運動具店品切の節は御一報下さい。



十條製紙株式会社小倉工場

工場長　松　田　　武

北九州市小倉区大字篠崎540

TEL ㊿ 代表７０８１番

選手名簿(男子)

県名	事業所名	監督名	選手名
北海道	札幌鉄道管理局	青山 繁樹	平沢 啓裕　渋井 明　大石 興徳　伊藤 善夫 田中 昭夫　福島 智徳
新潟県	KK 捧製作所	捧 千松	捧 孝夫　小日山喜雄　捧 正夫　捧 博夫 捧 勇
山梨県	甲府市役所	中林 昭一	遠藤 真男　岡崎 恵三　新津 勝　田中 登 村山 一夫
石川県	倉庫精練KK	田村 祥爾	田村 祥爾　中田 吉昭　山本 武　広川万亀夫 納口 正雪　室 勉
千葉県	日立茂原工場	川崎 和吉	川崎 和吉　井上 文仁　近藤 登　村上 則夫 森澄 健夫
	大日本インキ化学		北見 恵一　白井 正隆
埼玉県	日研化学KK	小川 浅夫	内藤 昭　井上 泰年　佐藤 忠男　吉田 司 山口 喜雄　石川 二郎　角田 功
	サンケン電気		今井 清兼　富山 武司
東京都	石川島播磨重工業KK	高橋 護	平塚 順　徳保 勝　菅村 好基　水留 寿孝 浅井 秀男
	日本化薬		山崎 忠雄　柳 久男
	岩崎通信機KK	丸田 圭二	丸田 圭二　鶴岡 秀臻　高橋 敏晴　島田 信一 中瀬 一義　宮入 源治　森 宗高
	富士重工業KK三鷹製作所	松野 良一	笠原 勝　豊田 栄一　足立 孝雄　豊田 吉男 星野 善昭　古川 薫　水野 勉
	電々東京	星野 忠男	星野 忠雄　井門 鎮雄　沢田 力　鈴木 幸春 田上 十六　森谷喜久男　横倉 良樹　菅 偕和
	KK北辰電機製作所	北脇 重康	北脇 重康　味蓼 志郎　吉田 進　黒崎 二男 植田 耕司　細野 敏男　藤村 武夫
	中日東京		斉藤健太郎
	河崎ラケット		堺 栄一　福井 正康　河崎 一幸

選手名簿(男子)

県名	事業所名	監督名	選手名			
神奈川県	日本鋼管KK 鶴見製鉄所	岩田 三郎	遠藤 啓治	青木 昇	石川 三郎	伊田 真一
			磯貝 泰史			
	関東自動車工業 K K	井上 忠久	池田 昌弘	高橋 宏之	鈴木 宣昭	守屋 孝夫
			井上 忠久			
	東京芝浦電気 K K	伊勢川芳長	久保川 勝	桜井 光雄	三国 良彦	金丸 賢市
			山下 高志	間辺 安夫		
岐阜県	岐阜商工信用組合	田中 文一	翠 邦彦	上原 章	和田 明	河田 満
愛知県	トヨタ自動車工業 K K	山城 智徳	小宮 好雄	板垣 善憲	長谷川敏彦	鈴木 紀元
			杉政 和男	小林 一宏	多賀 靖之	坂本 正二
			山城 智徳	多賀 純一		
	名古屋市役所	伊藤 鉱一	加藤 和男	渡辺 順三	皆川 英雄	水野 輝彦
			加藤 正人	伊藤 鉱一	渡辺 泰竹	
	豊田工機 K K		宮川 清			
京都府	三菱重工業KK京都製作所	大志方敬寧	秋山 真一	石原 敦	福井 達雄	高宮梵之助
			中尾 政実	石田 信行	北村 稔一	
	三菱製紙KK 京都工場		米沢 貞義	下津 康宏		
	島津製作所	野村 嘉明	和田 正高	安川 和正	田中 優	若村 登
			加藤 英昭	永谷 祥三		
大阪府	松下電子工業 K K	矢田 直宏	山下 善昭	森 晃一	山本 正彦	吉田 茂
			畑部 輝秀	落合 忍		
	ダイキン工業 K K		酒井 武	松本 真一	中村 昌二	中尾 雄二
			松岡 剛	倉田 弘道	高橋 正義	
	丸紅飯田 K K	村田 哲	広瀬 勝彦	北村 修一	福田 元彦	小谷 裕司
	国際電々	溝渕 宏二	武村 俊平	竹端 捷二	森 満樹	藤井 靖雄
			松浪鋭四郎	溝渕 宏二		
	電々大阪	池田 芳麻	榎 高嗣	高野五十美	工藤 鶴雄	品川 勝男
			森本 務	木谷 正美	小川 正夫	池田 芳麻
			中川 安正			

選手名簿(男子)

県名	事業所名	監督名	選手名
兵庫県	三菱電機KK伊丹	荻野 一夫	浜口 博信　立花 宏昭　古高 郁夫　原田 睦宏 並木 良夫　藤枩 邦彦　足立 誠
	KK神戸製鋼所尼崎工場	青山 芳正	近藤 利一　小泉 淳一　森田 俊治　竜円 栄治 阿部一二三　栗原 征夫　田中 至
	大日日本電線	小川 雄三	大黒 和明　清水 力　佐野 喜彦　胚座 一利 山田 達也　吉田 昇　中村 邦宏
	古川電工KK		栗 守
岡山県	岡山市役所	社 竹三	小松 貴　藤井 英雄　馬場 睦純　神子戸輝幸 岡本 武利　社 竹三　小梶 繁雄　大村 安治 梶原 恒彦　水川 捨夫
	丸菱商事KK		前田 俊一
鳥取県	国鉄後藤工場		井原平八郎　田鍬 敏治　浅井 譲　佐々木義政 松永 恭昌
山口県	宇部興産KK宇部窒素工場	松村 哲幸	山県 保夫　伊藤 淳司　木曾新一郎　足立 男
	山陽パルプ岩国工場	岡崎 修身	川岡 智　田原 敏雄　河野 耕司　山本 豊 林 厚志　宮岡 康臣
香川県	高松市役所	野口 利行	辻村 栄一　遠藤 孝　谷本 庄一　野口 敏行 横岡 忠幸　田中 真一
	琴平電鉄		東条 義昭　牟礼 顕
愛媛県	丸善石油KK 松山製油所	池内 義夫	浜中 誠　松木 信夫　白石 卓夫　佐伯 友正 小林 晃　妹尾与志文　幸野 邦昭　池内 義夫
	住友化学 新居浜製造所	堀内 弘敏	豊島 進　福井 久男　前田 斉　津吉 哲郎 須山 盾夫　大島 宗紀　矢野 晃
	住友化学工業KK 菊本製造所	奥 鶴美	越智 勤也　三苫 孝一　矢島 行雄　片山 逸志 中村 昌弘　松井 哲　安藤 八郎
大分県	日田市役所	梶原 敬悟	梅山剛太郎　諫元 慎一　桑野 昇　田中 大也 春武 俊一

選 手 名 簿 (男 子)

県 名	事 業 所 名	監 督 名	選 手 名
長崎県	三菱電機長崎製作所	木村俊三郎	江原 澄　山崎 敏則　山市 敞造　栄 信重 佐藤 孝章
	三菱重工業長崎造船所	島沢 優	喜多 昭夫　中岡 洋　山口征一郎　吉田 豊 平野 勝也　前田 国臣　重松 剛三
福岡県	安川電機製作所	大林 重行	大林 重行　遠山 励　杉原 征治　河田 彰夫 永島 俊臣　百々 信幸
	西日本相互銀行	吉木 実	星出 秀昭　田中 茂行　三宅 孝明　渡辺 直 佐藤 国晴
	北九州市役所	三沢 英二	三沢 英二　渕上 英紀　勝野 雅文　遠江 一彦 小野 重光　藤木 隆寛　坂本 良　松永 俊昭 柏木健次郎　三代 隆博
	多賀印刷所		多賀 常次

選手名簿(女子)

県名	事業所名	監督名	選手名
北海道	札幌鉄道管理局		高森 幸子　村田 泰子
秋田	帝国石油		横山 満子　高橋 奉子
栃木	関東自動車KK	保坂 俊一	植木タカ子　手島 好子　黒崎 栄子　小出千代子 日向野和子
千葉	日立製作所 茂原工場	川崎 和吉	福山 正子　柴田 英美　江川 絹子　鈴木 美子
福井	KK芝浦製作所 小浜工場	石原 善美	長岡 清子　野村 雅子　芝崎加代子　倉谷 潤子
埼玉	東邦レースKK	浅井 進一	佐々木フミ　中川美枝子　加賀谷ユミ子　児玉キヨウ子
〃	日研化学KK		高橋美智子　尾熊ミツ子
〃	サンケン電気		佐藤 恵子
東京	石川島播磨重工業KK	高橋 護	秋山 恵子　小沢 英子　倉田芙美代　吉田 則子
〃	KK大丸東京店	佐々木滋夫	遠山 洋子　小川 智子　塩山 貴子　鯨 路子 高橋キミ子
〃	電々東京	星野 忠男	秋山 文子　有木とみ子　鈴木 柳子　金藤 貞子 鈴木 恵
神奈川	日本コロムビアKK川崎工場	伊藤 隆文	小林 歌子　杉田 良子　大矢 定子　内田 孝子
愛知	トヨタ自動車工業KK	深津 豊	土井三枝子　橘 妙子　粂田 順子　和田 昌代 大塚 弘子　武田 初代　林 信子
〃	名古屋鉄道KK	伊藤 義孝	渡辺 幸子　山際トモ子　丹羽さよ子　前田香代子
〃	豊田工機KK		渡辺 直子
京都	三菱重工業KK京都製作所	秋山 真一	浜中 妙子　林 喜美子　永井かおり　大八木いと枝
〃	三菱製紙KK 京都工場		山川 寛子　秋田 梅枝
大阪	電々大阪	池田 芳麻	花本 順子　松木美代子　宮竹久恵子　今田 昌枝
〃	丸紅飯田	村田 哲	平野 泰子　浜田 晴美　森田 敦子　蛭川 洋子
〃	松下電子工業KK	矢田 直宏	湯浅千鶴子　吉井千代美　吉田 富子　宮川 桂子
兵庫	三菱電機KK 伊丹製作所	北 義一	牧野 芦子　信田 都　岩田 洋子　伴野ヨシ子 岩田 京子　島 宏子
山口	宇部興産 宇部窒素工場		江原 敏子　松村 和美
香川	琴平電鉄	有馬 正作	横井 文子　森 久子　渡辺百合子　清水 照美
福岡	西日本相互銀行	吉木 実	玉水 典子　松崎 栄子　松本貴久子　中牟田美都子 小副川伸子
〃	KK久留米井筒屋	梶原 実	塚本キヌ子　小林千代子　能丸 晴　西山マキ子 森山美代子　梅崎 郁代

過去の栄冠（1）

男子

年	開催地	回数	優勝 チーム名	優勝 監督名	優勝 選手名	準優勝 チーム名	準優勝 監督名	準優勝 選手名
1952	東京都	第1回	十条製紙伏木工場（富山）	石上実	清水正 工糸夫 釣谷友一 正村慎一郎 筆谷浩仁 宮下芳一 佐野善次郎	トヨタ自動車（愛知）	酒巻和男	上羽家秀 小池鉱市 貝本暁 酒巻和男 岩月真平 中井和夫 義行
1953	横浜市	第2回	十条製紙伏木工場（富山）	正村慎一郎	正村慎一郎 筆谷浩仁 宮下芳一 佐野善次郎 清水正 工糸夫 釣谷友一	ナルトスポーツ（神奈川）	秋元幾男	岡淳一 相馬万吉 脇養次郎 秋元幾男 井上正春
1954	長崎市	第3回	十条製紙伏木工場（富山）	石上実	石上実 工糸夫 筆谷浩仁 佐野善次郎 清水正一 宮下芳一 釣谷友一 荒木亥久男	日産自動車（神奈川）	加藤国男	鈴木秀雄 荒井考彦 配井隆夫 菊池貫雄 三好清二 宮岡源
1955	名古屋市	第4回	日本鋼管鶴見造船所（神奈川）	菊間昭治	菅原仲夫 佐藤昌久 佐治豊 遠藤啓治 崎尾元勉 砥石光春 小野富 鈴木	トヨタ自動車（愛知）	小池鉱市	小池鉱市 上羽家秀 岩月真平 市川利治 深津豊徳 山城智純一郎 多賀司 荒川
1956	高岡市	第5回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	清水正 釣谷友一 宮下芳一 佐野善次郎 荒木亥久男 筆谷浩仁	日本鋼管鶴見造船所（神奈川）	菊間昭治	国枝良資 佐藤昌久 佐治豊 遠藤啓治 崎尾元勉 砥石美春 小野光 鈴木富
1957	高松市	第6回	十条製紙伏木工場（富岡）	清水正	清水正 釣谷友一 品川則之 宮下芳一 佐野善次郎 荒木亥久男 筆谷浩仁 扇谷三徳	日本鋼管鶴見造船所（神奈川）	菊間昭治	菊間昭治 国枝良資 遠藤啓次 佐藤昌久 佐治豊 小野光 砥石勉 鈴木春 富
1957	岐阜市	第7回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	釣谷友一 扇沢沢 品川則之 荒木亥久男 佐野善次郎 清水正 扇谷三徳	日本鋼管鶴見造船所（神奈川）	菊間昭治	菊間昭治 鈴木富春 小野光美 佐藤昌久 遠藤啓治 国枝良資 佐治豊 十佐余
1958	札幌市	第8回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	釣谷友一 扇沢三徳 品川則之 荒木亥久男 佐野善次郎 大野幸雄	日本鋼管鶴見造船所（神奈川）	菊間昭治	佐治豊 小野光美 鈴木富春 石川三郎 遠藤啓治 佐藤昌久 菅原伸 真壁孝
1959	善通寺市	第9回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	荒木亥久男 扇沢三徳 江守清 佐野善次郎 品川則之 大野幸雄 加須栄英雄 清水正	札幌鉄道管理局（北海道）	西木秀一郎	井川誠 熊倉昭二 平沢啓 渋井明 長山森久雄 島辰彦 裕有路信彦
1960	名古屋市	第10回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	荒木亥久男 扇沢三徳 江守清 品川則之 大野幸雄 山田昭夫	電々東京（東京）	並木万次郎	高橋章 沢村浩 喜多川広 貝戸肇 岩本龍一 北島克英
1961	倉敷市	第11回	十条製紙伏木工場（富山）	清水正	荒木亥久男 扇沢三徳 江守清 品川則之 大野幸雄 山田昭夫	電々東京（東京）	並木万次郎	高橋章 貝戸肇 喜多川広 星野忠男 沢村浩 小林克之
1962	熊本市	第12回	電々東京（東京）	並木万次郎	星野忠男 富田豊 沢村浩 森谷喜久男 井門鎮雄 貝戸肇 喜多川広	トヨタ自動車（愛知）	多賀純一	佐藤忠史 岩后隆昭 赤羽茂治 小宮田好雄 勝田照夫 多賀純一
1963	三条市	第13回	電々東京（東京）	高橋章	星野忠男 井門鎮雄 沢田力 森谷喜久男 貝戸肇 富田豊 沢村浩	トヨタ自動車（愛知）	多賀純一	小宮好雄 坂垣善憲 勝田照夫 多賀元靖 北田寛一 岩后隆昭 鈴木紀元
1964	松山市	第14回	トヨタ自動車（愛知）	深津豊	鈴木紀元 杉政和男 小宮好雄 板垣善憲	電々東京（東京）	星野忠男	鈴木幸春 沢田力 星野忠男 井門鎮雄

女子

年	開催地	回数	優勝 チーム名	優勝 監督名	優勝 選手名	準優勝 チーム名	準優勝 監督名	準優勝 選手名
1952	東京都	第1回	トヨタ自動車（愛知）	酒巻和男	保田久子 山本満子 伊与田照子 吉永千代子	日本コロムビア（神奈川）	荒川とみ子	奥谷喬代 荒川とみ子
1953	横浜市	第2回	トヨタ自動車（愛知）	酒巻和男	保田久子 山内登美子 伊与田照子 藤井宣子	日本コロムビア（神奈川）	中野一夫	奥谷喬代 荒川とみ子
1954	長崎市	第3回	トヨタ自動車（愛知）	小池鉱市	保田久子 山田雪子 伊与田照子 水野きみ子	日本コロムビア（神奈川）	伊藤隆文	小林歌子 荒川とみ子

	年	開催地	回数	優勝 チーム名	監督名	選手名	準優勝 チーム名	監督名	選手名
女子	1955	名古屋市	第4回	仙台郵政局(宮城)	高橋率太郎	谷津京子 西堀富美子 佐藤範子 栗山栄子	日本コロムビア(神奈川)	伊藤隆文	荒川とみ子 大川良子 小林歌子
	1956	高岡市	第5回	日本コロムビア(神奈川)	伊藤隆文	小林歌子 荒川とみ子 大川良子	仙台郵政局(宮城)	高橋率太郎	谷津京子 西堀富美子 佐藤範子
	1957	高松市	第6回	岡山市役所(岡山)	崎本幸三郎	権田節子 光本政子	トヨタ自動車(愛知)	深津豊	大沢節子 花井洋子
	1957	岐阜市	第7回	森岡経理事務所(香川)	川崎智	井上桂子 横井キヌエ 森岡貴美子	岡山市役所(岡山)	梶原馨	権田節子 小林桂子 光本政子
	1958	札幌市	第8回	森岡経理事務所(香川)	川崎智	横井キヌエ 山下久子	岡山市役所(岡山)	山上周之	権田節子 光本政子
	1959	善通寺市	第9回	高岡市役所(富山)	清水正	高島洋子 中島玲子	森岡経理事務所(香川)	川崎智	横井キヌエ 山下久子
	1960	名古屋市	第10回	高岡市役所(富山)	中山邦夫	高島洋子 中島玲子	帝国石油(秋田)	相場清一	木村政子 横山満子
	1961	倉敷市	第11回	帝国石油秋田鉱業所(秋田)	相場清一	木村政子 高橋奉子 横山満子 長崎文子	高岡市役所(富山)	中山邦夫	高島洋子 中島玲子
	1962	熊本市	第12回	金森藤平商店(富山)	島井政雄	橘美智子 酒井美智子	琴平電鉄(香川)	竹内恭平	横井文子 森久子 宮武範子 山下由子
	1963	三条市	第13回	琴平電鉄(香川)	有馬正作	田島外茂子 横井文子 森久子 宮武範子 山下由子 渡辺百合子	帝国石油(秋田)	相馬清一	横山満子 長崎文子 高橋奉子 伊藤美津子
	1964	松山市	第14回	琴平電鉄(香川)	有馬正作	横井文子 宮武範子 森久子 山下由子 田島外茂子 渡辺百合子	トヨタ自動車(愛知)	深津豊	林信子 粂田順子 土井三枝子 和田昌代 橘妙子

過去の栄冠 (2)

回数	年度	種目別	優勝 単 氏名	所属	優勝 複 氏名	所属	準優勝 単 氏名	所属	準優勝 複 氏名	所属
1	1958	一般男子	佐藤芳朗	神奈川	山田養三 生田仁紀雄	仙台郵政	杉田博	神奈川	荒木亥久男 品川則之	十条製紙
〃	〃	一般女子	横井キヌエ	善通寺森岡経理	横井キヌエ 山下久子	善通寺森岡経理	大川良子	コロムビア	田島外茂子 宮川ツヤ子	琴平参宮
2	1959	一般男子	佐藤芳朗	神奈川	佐藤芳朗 杉田博	小田急観光港南中学	松王清志	大阪	佐治豊 鈴木富春	日鋼鶴造
〃	〃	一般女子	横井キヌエ	善通寺森岡経理	横井キヌエ 山下久子	善通寺森岡経理	大川良子	コロムビア	権田節子 光本政子	岡山市役所
3	1960	一般男子	杉田博	港南中学校	荒木亥久男 大野幸雄	十条製紙	永井栄一	三越	北島克己 貝戸肇	電々東京
〃	〃	一般女子	高島洋子	高岡市役所	高島洋子 中島玲子	高岡市役所	梅野尾桂子	不二越鋼材	根岸紀 湯浅光枝	岡山市役所

回数	年度	種目別	優勝 単 氏名	優勝 単 所属	優勝 複 氏名	優勝 複 所属	準優勝 単 氏名	準優勝 単 所属	準優勝 複 氏名	準優勝 複 所属
4	1961	一般男子	永井 栄一	三越	片石 兼敏 永井 栄一	岩倉ホモゲン三越	板垣 隆房	山形	沢村 治 小林 克之	電々東京
〃	〃	一般女子	橘 美智子	般若鉄工	福本 和子 横井 文子	百十四銀行香川	横井 文子	香川	橘 美智子 酒井美智子	般若鉄工
5	1962	一般男子	小宮 好雄	トヨタ自動車	星野 忠雄 富田 豊	電々東京	岡崎 恵三	日本コロムビア	杉田 博 岡崎 恵三	港南中 日本コロムビア
〃	〃	一般女子	横井 文子	琴平電鉄	橘 美智子 酒井美智子	金森商店	橘 美智子	金森藤平商店	横山 満子 木村 政子	帝石秋田
6	1963	一般男子	小宮 好雄	トヨタ自動車	小宮 好雄 板垣 善憲	トヨタ自動車	板垣 善憲	トヨタ自動車	沢田 力 井門 鎖雄	電々東京
〃	〃	一般女子	横井 文子	琴平電鉄	横井 文子 森 久子	琴平電鉄	高橋 奉子	帝石秋田	橘 美智子 酒井美智子	金森商店
6	1964	一般男子	小宮 好雄	トヨタ自動車	小宮 好雄 板垣 善憲	トヨタ自動車	板垣 善憲	トヨタ自動車	岡崎 恵三 遠藤 真男	甲府市役所
〃	〃	一般女子	横井 文子	琴平電鉄	横井 文子 森 久子	琴平電鉄	森 久子	琴平電鉄	田島外茂子 宮武 範子	琴平電鉄

回数	年度	種目別	優勝 単 氏名	優勝 単 所属	優勝 複 氏名	優勝 複 所属	準優勝 単 氏名	準優勝 単 所属	準優勝 複 氏名	準優勝 複 所属
1	1956	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	伊藤 基記 鶴田徳太郎	熊本 大日本製糖	今井 先	東京	伊村 勇 人交	三重
2	1957	30代男子	毛利 清志	岡山 山陽学園	毛利 清志 山上 周之	岡山 山陽学園	藤井 光男	東京 YMCA	藤井 光男 相場 清一	東京 YMCA 秋田 帝国石油
〃	〃	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	東条 博 真鍋金治郎	香川	今井 先	東京	渡辺 中村	秋田 帝国石油
〃	〃	50代男子	宮地 次吉	富山	松田 龍一 宮地 次吉	金沢大学 富山	松田 龍一	金沢大学	大沢 渉 田中荘三郎	北海道
3	1958	30代男子	毛利 清志	岡山 山陽学園	毛利 清志 山上 周之	岡山 山陽学園	斉藤健太郎	東京 中日新聞	深津 豊 山城 智徳	トヨタ自動車愛知
〃	〃	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	東条 博 真鍋金次郎	香川	今井 先	東京	伊藤 基記 村上 忠治	熊本女子大 トヨタスポーツ
4	1959	30代男子	毛利 清志	岡山 山陽学園	毛利 清志 山上 周之	岡山 山陽学園	河上 重信	富川	河上 重信 林 辰夫	富山
〃	〃	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	小島 只芳 中北 政夫	香川	東条 博	香川	東条 博 真鍋金次郎	香川
〃	〃	50代男子	小梶 繁雄	岡山市役所	松田 龍一 宮地 次吉	金沢大学 富山	宮地 次吉	富山	広田 兼敏 兵藤 昌彦	神奈川

回数	年度	種目別	優勝 単 氏名	優勝 単 所属	優勝 複 氏名	優勝 複 所属	準優勝 単 氏名	準優勝 単 所属	準優勝 複 氏名	準優勝 複 所属
5	1960	30代男子	毛利 清志	岡山山陽学園	毛利 清志 山上 周之	岡山山陽学園	松崎富士雄	熊本	伊藤 基記 松崎富士雄	熊本
〃	〃	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	降井 欽一 菊地 貫能	神奈川	東条 博	香川	東条 博 真鍋金次郎	香川
〃	〃	50代男子	宮地 次吉	富山	松田 龍一 宮地 次吉	富山	小梶 繁雄	岡山市役所	小梶 繁雄 崎本幸三郎	岡山市役所
6	1961	30代男子	毛利 清志	岡山山陽学園	毛利 清志 山上 周之	岡山山陽学園	川辺 卓	富山	松崎富士雄 本郷 節牛	熊本
〃	〃	40代男子	伊藤 基記	熊本女子大	降井 欽一 菊地 貫能	神奈川	小島 只芳	香川	伊藤 基記 権田 正一	熊本 東京
〃	〃	50代男子	佐藤喜代司	新潟	東 芳男 兵藤 昌彦	神奈川	東 芳男	神奈川	松田 龍一 宮地 次吉	石川 富山
7	1962	30代男子								
〃	〃	40代男子								
8	1963	30代男子	高見 広治	新潟大学	荒川 司郎 谷沢 経次	トヨタ自動車	荒川 司郎	トヨタ自動車	林 辰夫 広瀬 幸男	日産化学
〃	〃	40代男子	相場 清一	帝石秋田	相場 清一 矢作	帝石秋田	越智 勤也	住友化学 菊本	東 芳男 降井 欽一	日産自動車
9	1964	30代男子	前田 俊一	丸善商事	河崎 一幸 福井 正康	河崎ラケット	溝渕 宏二	K.D.D	荒川 司郎 谷沢 経次	トヨタ自動車
〃	〃	40代男子	三沢 英二	北九州市役所	越智 勤也 安藤 八郎	住友化学	安藤 八郎	住友化学	谷本 庄一 池上 任	高松市役所

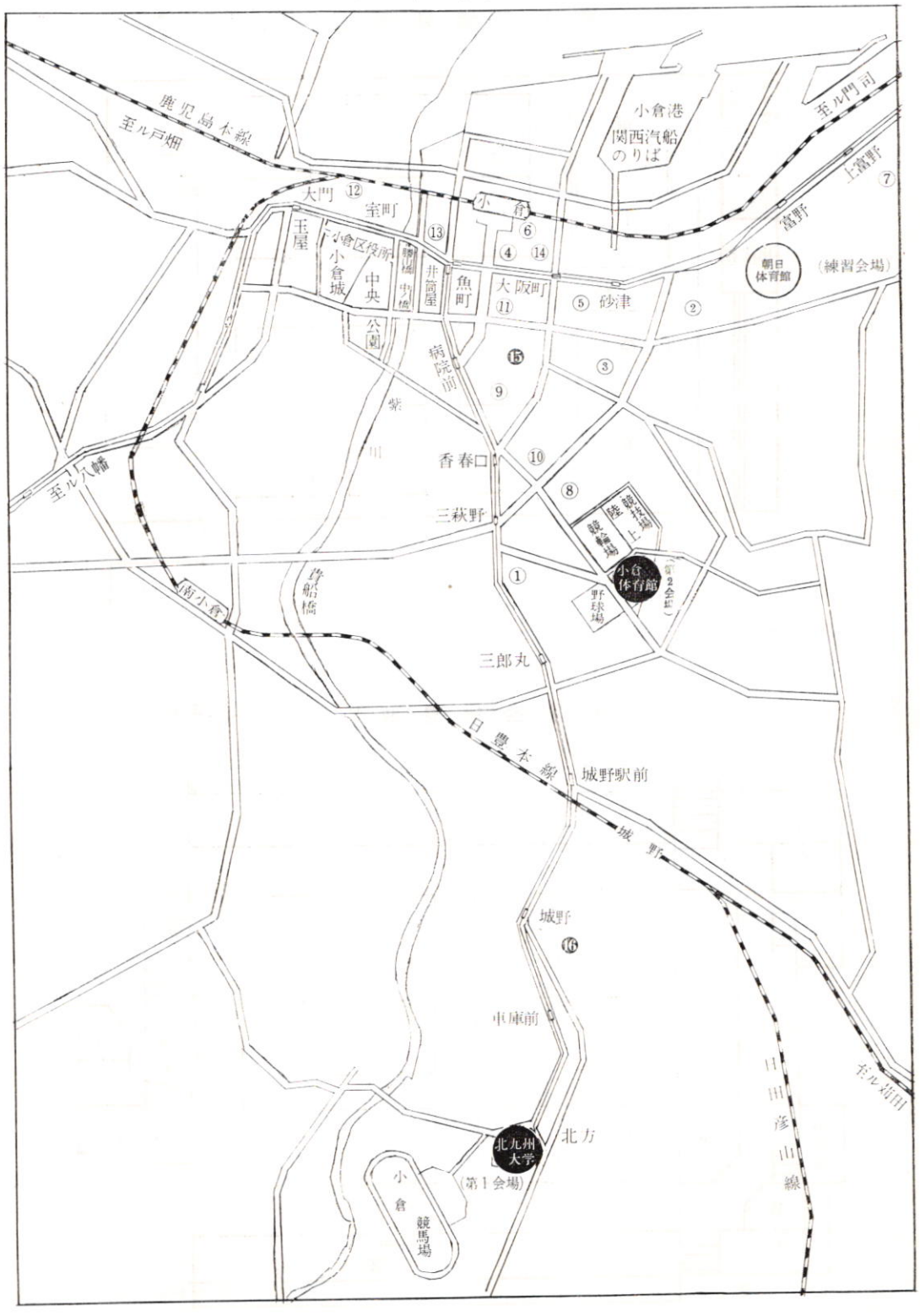
混合過去の優勝

1949	E.EMERL 川俣千枝子	神奈川	1953	渋谷 弘敏 小島 信	京都	1957	石原 利通 戸田 寿子	岡山	1962	小宮 好雄 蔵本 文子	愛知
1950	山田 康久 田村知江子	東京	1954	〃	〃	1959	貝戸 肇 諸田みや子	東京	1963	小宮 好雄 蔵本 文子	トヨタ自動車
1951	〃	〃	1955	土谷 茂己 入沢 良美	新潟	1960	北島 克英 有木 とみ	〃	1964	小宮 好雄 林 信子	トヨタ自動車
1952	渋谷 弘敏 小島 信	京都	1956	小飼 栄一 本庄 純子	北海道	1961	杉田 博 杉田 良子	神奈川			

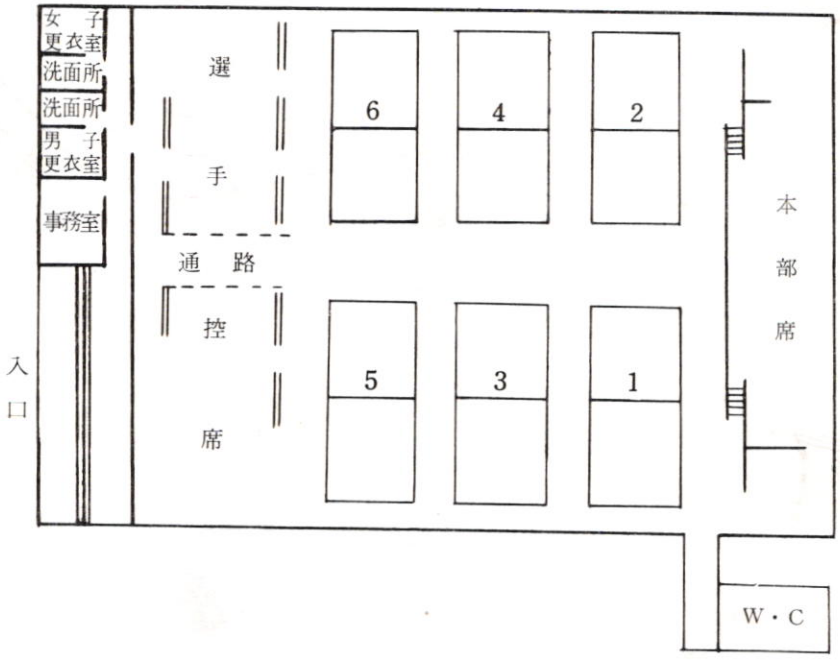
選手、役員宿舎一覧表

県名	チーム名	旅館名	記号	所在地	TEL
秋田	帝国石油秋田	清風荘	①	小倉区片野	㊷ 2390
栃木	関東自動車	〃		〃	〃
千葉	大日本インキ化学工業	〃		〃	〃
〃	日立製作所茂原	〃		〃	〃
埼玉	日研化学	〃		〃	〃
〃	サンケン電気	〃		〃	〃
東京	石川島播磨重工	不二屋	②	小倉区砂津東町	㊷ 1501
〃	富士重工三鷹	〃		〃	〃
〃	日本化薬	〃		〃	〃
〃	大丸東京店	チトセ	③	小倉区砂津中庄路	㊷ 6975
〃	岩崎通信機	〃		〃	〃
〃	河崎ラケット	〃		〃	〃
神奈川	関東自動車工業	つるや	④	小倉区米町8	㊷ 3278
〃	日本鋼管	〃		〃	〃
〃	日本コロムビア	〃		〃	〃
新潟	捧製作所	万屋	⑤	小倉区堺町8	㊷ 0324
山梨	甲府市役所	〃		〃	〃
岐阜	岐阜商工信用組合	芳川	⑥	小倉区京町7	㊷ 3126
石川	倉庫精練	清風荘		〃	〃
愛知	トヨタ自動車工業	ホテル松柏園	⑦	小倉区上富野本町	㊸ 0286
〃	豊田工機	〃		〃	〃
〃	名古屋市役所	〃		〃	〃
〃	名古屋鉄道	〃		〃	〃
京都	三菱製紙京都	和多屋	⑧	小倉区萩崎町	㊷ 1795
〃	三菱重工京都	〃		〃	〃
〃	島津製作所	〃		〃	〃
大阪	松下電子工業	ひさや	⑨	小倉区馬借町7	㊷ 4154
〃	丸紅飯田	〃		〃	〃
〃	ダイキン工業	武蔵野	⑩	小倉区江南町北通	㊷ 3543
〃	国際電々	〃		〃	〃
兵庫	三菱電機伊丹	ホテル松柏園	⑦	小倉区上富野本町	㊸ 0286
〃	大日日本電線	〃		〃	〃
〃	神戸製鋼尼崎	〃		〃	〃
〃	古河電工	〃		〃	〃
岡山	岡山市役所	芳川	⑥	小倉区京町7	㊷ 3126
山口	山陽パルプ岩国	〃		〃	〃
香川	高松市役所	みゆき	⑪	小倉区堺町3	㊷ 3809
〃	琴平電鉄	〃		〃	〃
愛媛	丸善石油松山	小出	⑫	小倉区室町4	㊻ 2277
〃	住友化学菊本	〃		〃	〃
〃	住友化学新居浜	〃		〃	〃
長崎	三菱重工長崎	萬昌館	⑬	小倉区米町2	㊷ 1671
〃	三菱電機長崎	〃		〃	〃
福岡	西日本相互銀行	ともえ	⑭	小倉区米町9	㊷ 5946
	本部	**旅館田川**	⑮	小倉区古船場	㊷ 3831
	審判団	**大同館**	⑯	小倉区城野町	㊷ 0368

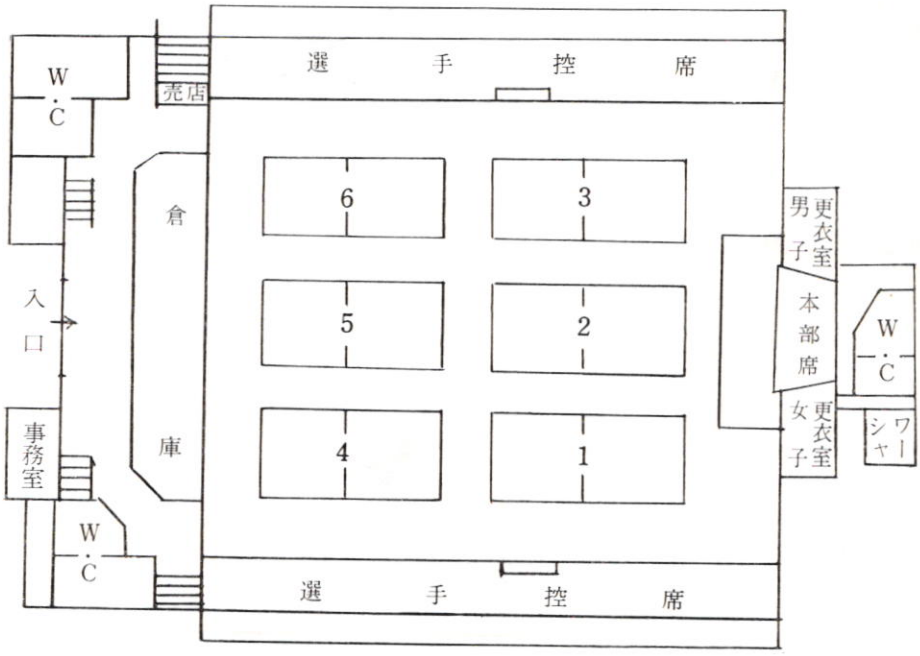
小倉区市街図


鹿児島本線
至ル戸畑
大門 ⑫
宝町
小倉
⑬
⑥
④ ⑭
玉屋
小倉城
小倉区役所
中央公園
勝山橋
井筒屋
魚町
大阪町 ⑪
⑤ 砂津
②
病院前
⑮
③
⑨
紫川
香春口
⑩
三萩野
⑧
至ル八幡
⑦
上富野
富野
至ル門司
小倉港
関西汽船のりば
朝日体育館
（練習会場）
勝山公園
総合運動場
小倉体育館
（第2会場）
野球場
①
南小倉
唐船橋
三郎丸
日豊本線
城野駅前
城野
⑯
車庫前
北九州大学
（第1会場）
北方
小倉競馬場
日田彦山線
至ル苅田

第 1 会 場 見 取 図　(北九州大学体育館 TEL 54—3702)



第 2 会 場 見 取 図　(市立小倉体育館 TEL 54—3804)



審　判　の　用　語

日本バドミントン協会審判委員会
昭和39年6月6日

1	最初のサーバーおよびエンドをきめるとき。	トス
2	プレーヤーを発表するとき。	
	1　ダブルスの例	インサイド　ファスト・サーバーA君，所属（パートナーと違うときのみ）， パートナー　B君，所属 アウトサイド　ファースト・レシーバーC君，所属（パートナーと違うときのみ）， パートナー　D君，所属
	2　シングルスの例	インサイド　A君，所属 アウトサイド　B君，所属
3	試合を始めるとき。	ラブ・オール，プレー
4	シャトルが所定のバウンダリー内に落ちたとき。	イン
5	フォルトの状態が起ったとき。 注:「アウト」以外は先ず「フォルト」とコールし，必要があれば，何のフォルトであるかを付け加える。	
	1　シャトルが所定のバウンダリーの外に落ちたとき	アウト
	2　サービスの際，シャトルが腰より高い点で打たれたとき	オーバー・ウエスト
	3　サービスでシャトルが打たれた際，ラケットの頭の如何なる部分でもラケットを持った手の如何なる部分よりも高く出たとき	オーバー・ハンド
	4　サービスの際，サーバーやレシーバーの両足の1部が静止の状態で床に着いていなければならぬ規則が犯されたとき	フット・フォルト
	5　サービスの際，サーバーやレシーバーの足がラインに触れたり，越えたりしたとき	ライン・クロス
	6　サービスの際，プレーヤーが相手を瞞したとき	ボーク
	7　シャトルがプレーヤーの身体または着衣に触れたとき	タッチ・ザ・ボディ
	8　ラケットや身体の1部または全部がネットを越えたとき	オーバー・ザ・ネット
	9　ラケット，身体，着衣の1部がネットに触れたとき	タッチ・ザ・ネット
	10　シャトルが同一プレーヤーによって連続2回打たれたとき	ドリブル
	11　シャトルが1人のプレーヤーとそのパートナーによって続けて打たれたとき	ダブル・タッチ
	12　シャトルがラケットにより保たれたとき	ホールディング（スリング）
	13　プレーヤーが相手を妨害したとき	インターフェヤー
6	インサイドが勝ったとき。	ポイント
7	インサイドが負けたとき。	
	1　第2サーバーのサービスとなる場合（ダブルス各ゲームの第2インニング以降において第1サーバーのサービスで敗けたとき）	（特にコールせず，8の2の要領による得点のコールで確認する）
	2　相手側のサービスとなる場合	サービス・オーバー
8	得点をコールするとき。	

	1　ダブルス各ゲームの第1インニングのとき，第2インニング以降で第1サーバーのサービスのとき，またシングルスのとき	
	例1　インサイドの得点が8，アウトサイドが3点	エイト・スリー
	例2　5対5の同点	ファイブ・オール
	2　ダブルスにおいて第2サーバーのサービスのとき	
	例1　インサイドの得点が8，アウトサイドが3点	エイト・スリー，セカンド・サーバー
	例2　5対5の同点	ファイブ・オール，セカンド・サーバー
	3　インサイドが14点（女子シングルスでは10点）に達した最初の機会に……	
	(1)　インサイドが勝てばゲームが終了するとき	ゲーム・ポイント
	(2)　インサイドが勝てば試合（マッチ）が終了するとき	マッチ・ポイント
	注：1　インサイドの得点の直後にコールし，アウトサイドの得点を続ける	例　14ゲーム(マッチ)・ポイント8
	注：2　セッティングの後，ゲームや試合の最終ポイントに達した際も，その最初の機会に上記同様のコールをする	例　4ゲーム(マッチ)・ポイント2
	注：3　ダブルスにおいて第2サーバーのサービスのときは，スコアに続き「セカンド・サーバー」とコールする	例　14ゲーム(マッチ)・ポイント8，セカンド・サーバー
9	セッティングをしたとき。	
	1　ダブルスで第1サーバーのサービスの際，およびシングルス	セット2(3，5)ポインツ，ラブ・オール
	2　ダブルスで第2サーバーのサービスの際	セット3（5）ポインツ，ラブ・オール セカンド・サーバー
10	ノー・カウントの状態が起ったとき。	レット
11	試合を中止させるとき。	タイム
12	中止した試合を再開させるとき。	ノー・タイム
13	ゲームが終ったとき。	
	1　第1ゲームが終ったとき	
	例　A君（B県）が15対9で勝	ゲーム・オーバー， ゲーム・ツー・A君(B県)，15—9
	2　第2ゲームが終り，ゲーム・カウントが1対1となったとき	
	例　A君（B県）が15対9で第2ゲームに勝った	ゲーム・オーバー， ゲーム・ツー・A君(B県)，15—9， ワン・ゲーム・オール
	注：　2チーム間の対抗試合ではプレーヤー名でなく，常に所属をコールする	
14	エンドを替えさせるとき。	チェンジ・エンド
15	第2ゲームを始めるとき。	
	例　第1ゲームはA君（B県）が勝っている	ゲーム・カウント1—0，A君(B県)リーディング，ラブ・オール，プレー
16	第3ゲームを始めるとき。	ファイナル・ゲーム， ラブ・オール，プレー
17	試合が終ったとき。 例　A君（B県）が2－1(2-0)で勝った	ゲーム・セット マッチ・ツー・A君(B県)，2—1(2—0)

祝

秩父宮妃賜杯争奪

第15回全日本実業団バドミントン選手権大会

（順序不同）

八幡製鉄株式会社
九州電力株式会社
西日本鉄道株式会社
西部瓦斯株式会社
株式会社安川電機製作所
黒崎窯業株式会社
三菱化成工業株式会社
住友金属工業株式会社
東洋陶器株式会社
株式会社井筒屋
株式会社玉屋
旭硝子株式会社
八幡化学株式会社
株式会社富士工業所
株式会社山本工作所
川岸工業株式会社
段谷産業株式会社
寺田産業株式会社

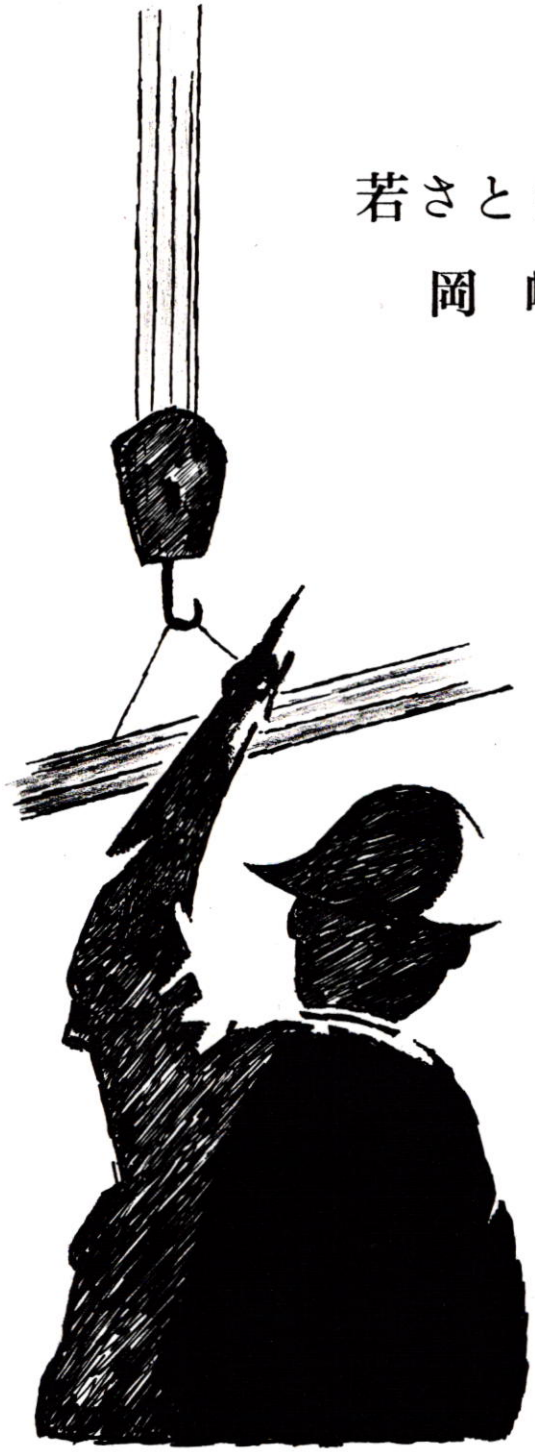
祝

秩父宮妃賜杯争奪

第15回全日本実業団バドミントン選手権大会

（五十音順）

東海運株式会社
岩井産業株式会社
大平産業株式会社
奥田金属株式会社
岡野バルブ製造株式会社
株式会社合原電化工務所
株式会社旭砕石所
株式会社風師商会
株式会社片村鉄工所
株式会社九州化学ドライセンター
梶山倉庫株式会社
菊竹工業株式会社
九州ライオン石鹸株式会社
九鉄工業株式会社
栗田工業株式会社
鉱滓製品販売株式会社
光洋金属工業株式会社
山九運輸機工株式会社
昭和興業株式会社
新日本鉄工株式会社
中和建設株式会社
中央塗装株式会社
千代田紙業株式会社
鎮西興産株式会社
同和商会株式会社
パブリカ北九州株式会社
八光産業株式会社
富士岐興産株式会社
豊州ダンボール工業株式会社
丸栄食品百貨株式会社
八木下ハム株式会社
鷲田石油株式会社



若さと技術で躍進する
岡崎工業!!

営業種目

土木工事
建築工事
機械据付配管工事
鉄骨加工工事
常例作業
（梱包・プラント保全作業
鉄鋼二次製品加工部門）

本社・北九州市八幡区築地町5番地
TEL（北九州市）代表 ⑥5331

支社・東京・名古屋・大阪・光

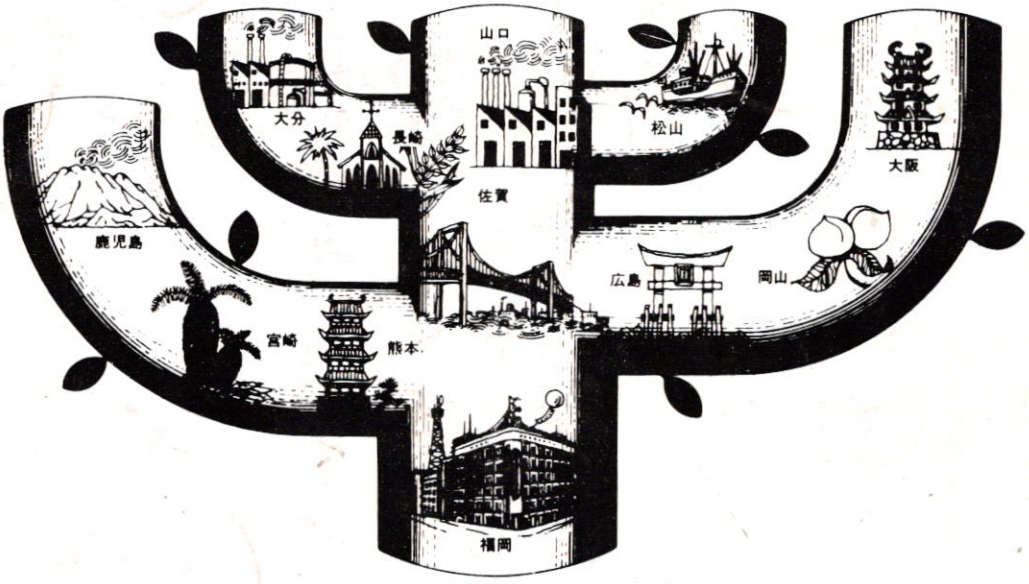
営業所・広島・新居浜・水島・福山
福岡・長崎・大分

資本金・2億5千万円

東京二部・福岡株式上場

岡崎工業株式會社

取締役社長　岡崎春雄



1本の幹から101カ店

西日本最大のネットサービス



九州・中国・四国・近畿——
この広い地域に皆さまの便利をねがうリスのニシギンが101カ店、すべて一本の幹につながっております。ご送金、為替の取立てはテレタイプで30秒。税金・電話料金などの公共料金の代行サービスにもつとめております。地域経済の開発に、中小企業の繁栄に、暮らしの向上に、リスのニシギンをご利用ください。

西日本相互銀行

本店—福岡市片土居町41番地の4　TEL (29) 2031

取締役社長　森　俊雄